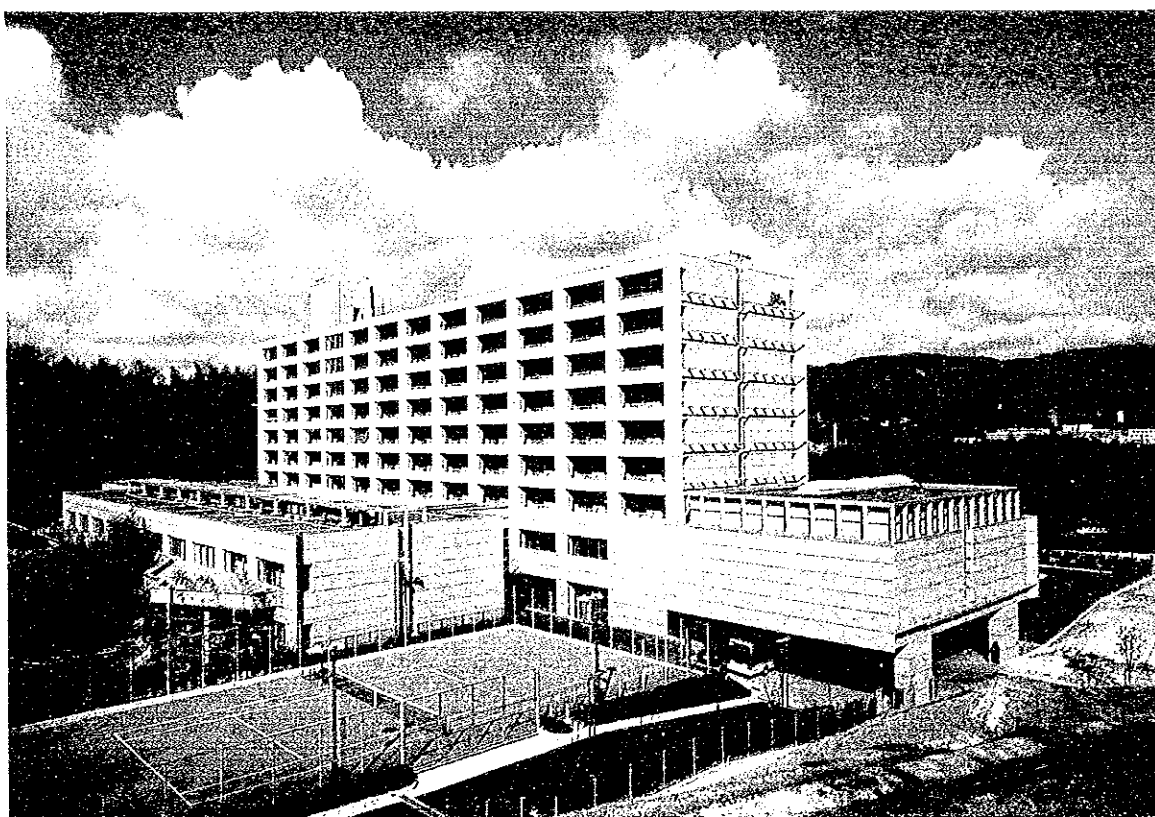


# 大阪国際センター概要

(平成6年度版)



国際協力事業団  
大阪国際センター

## は じ め に

大阪国際センターは、その前身である大阪国際研修センターが老朽化したことに加え、研修施設自体も増大する研修員受け入れ数に対応できなくなったため、平成6年1月茨木市西豊川町に新たに建設され、4月1日に正式オープンいたしました。

日本の伝統文化に富む関西地区には、西日本における経済・文化の中心地として、伝統技術から先端技術に至るまで、優れた研修訓練機関等が多数存在しています。新センターはこのような地元の利点を大いに生かし、産業技術分野、学術研究分野、都市環境分野、文化財保護分野の研修を中心に、途上国のニーズにより一層、的確に 대응できるよう配慮しています。近年、首都圏での研修員受入が飽和状態になっている現状から今後新センターでの受け入れ人数の大幅な増加が期待されています。

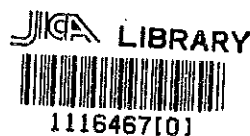
当センターの主要業務は、研修員に対し技術研修を実施することと宿泊施設の提供です。また、新たに来日した研修員に対しては、日本の文化等についての理解を深め、滞日生活、技術研修をさらに効果的なものとするためオリエンテーション及び日本語研修を実施しています。さらに、これらの研修員が滞日中快適に過ごせるよう健康管理にも十分配慮しており、レクリエーション活動等を実施しています。

ここに、平成6年度の事業計画と共に平成5年度の業務実績を取りまとめました。本書をもって当センターに対するご理解をさらに深めていただくと共に、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成6年8月

大阪国際センター

所長 溝 渕 高 生



国際協力事業団

26949

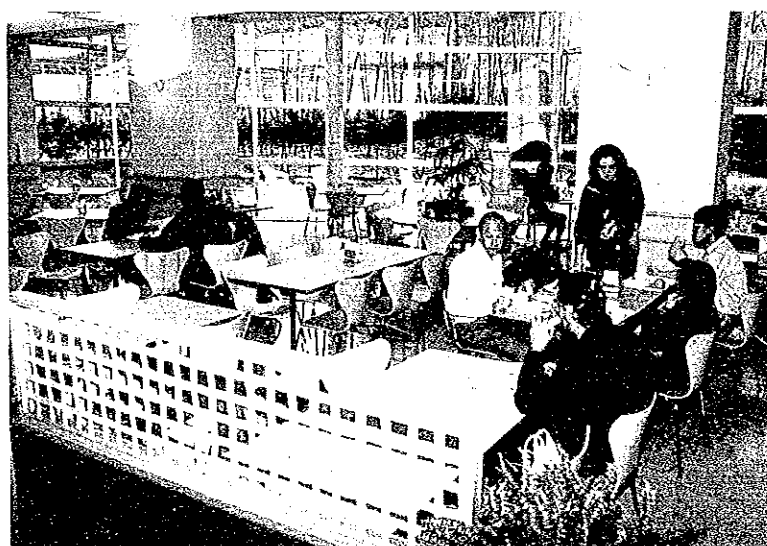
## 目 次

1. 国際協力事業団の事業	1～3
2. 研修員受入事業	4～6
3. 大阪国際センター事業	
(1) 研修員受入事業	7
・ 6年度研修実施計画	8～11
・ 集団研修コース等概要	12～15
・ 昭和42年度～平成5年度集団研修コース等研修員受入実績	16～17
(2) 日本語研修業務	
(イ) 実施概要	18
(ロ) 実施一覧	19～27
(3) 研修機関拡充事業	28
(4) 調査団派遣実績	
(イ) 調査団派遣	29
(ロ) 調査団概要	29
(5) 研修員福利・厚生活動業務	
(イ) 研修員・厚生活動概要	29～30
(ロ) 医師・看護婦配置実績	31～32
(ハ) 研修員レクリエーション実績表	33
(6) 宿泊施設運営管理業務	
(イ) 業務概要	34
(ロ) 宿泊施設利用実績	35
(7) センター組織と館内案内図	36～37
(参考資料)	
JICA国内機構	38～39
交通案内図	40

フロント



食堂喫茶



国際会議室



## 1. 国際協力事業団の事業

開発途上国の経済開発や福祉の向上を支援するために日本政府が行っている政府開発援助（ODA：Official Development Assistance）は、(1)2国間贈与（無償資金協力と技術協力）、(2)2国間貸付（有償資金協力、一般的には円借款と呼ばれます）、(3)国際機関に対する出資・拠出の3つの柱からなっています。一般的には、開発途上国の中でも特に貧しい後発開発途上国には、返済義務のない贈与が多く、また、より豊かで返済能力のある国々には、2国間貸付が多く行われています。2国間贈与の大部分は国際協力事業団（JICA：Japan International Cooperation Agency）が、また、2国間貸付については海外経済協力基金（OECF：Overseas Economic Cooperation Fund）が担当しています。

援助を行うにあたっては、わが国は相手国からの正式な要請を受けて行う、いわゆる要請主義の立場を原則的にとっています。つまり、まず開発途上国政府から日本政府に対して要請が出され、それに基づく検討、協議を経て実施されるというものです。とはいえ、最近では相手国側からの要請を待つだけでは積極的な援助が展開できないということから、プロジェクトの発掘段階での協力にも力が入られるようになってきました。

国際協力事業団が担当しているのは、2国間贈与のうちの技術協力と、無償資金協力の調査・実施促進業務です。「国造り、人造り、心のふれあい」とは、技術協力の目的を端的に示した国際協力事業団のキャッチフレーズですが、この言葉どおり開発途上国の国造りの主体となる人材の養成を事業の基本としています。そのために開発途上国からの研修員の受け入れや、日本からの専門家、青年海外協力隊の派遣を行い、こうした人々の交流を通じて、技術の移転とともに、心のふれあいによる相互理解が生まれることを目指しています。

同時に、そこで必要とされる種々の機器や資材の供与技術協力に関するさまざまな調査団派遣を行うほか、特に開発が遅れている国および地域に対しては、施設（病院、学校、研究所など）を建設するための無償資金協力も実施しています。

その他、海外移住に関しては情報の提供や斡旋から、移住後の現地における支援活動まで行っています。

国際協力事業団の事業を列挙すると次のようになります。

- (1) 技術協力事業
  - 研修員受け入れ事業
  - 専門家派遣事業
  - 機材供与事業
  - プロジェクト方式技術協力事業
  - 開発調査事業
- (2) 青年海外協力隊派遣事業
- (3) 技術協力のための人材の養成及び確保
- (4) 無償資金協力事業の調査・実施促進業務
- (5) 開発協力事業
- (6) 移住事業
- (7) 災害緊急援助業務

## 2. 研修員受入事業

開発途上国の国造りの中核となる技術者や行政官などに技術習得の機会を与えるために我が国に招く研修員受け入れ制度によって、毎年7,000人程度の海外の研修員が日本を訪れます。研修員受け入れ制度は日本から専門家、青年海外協力隊を派遣することとあわせて、技術協力の車の両輪といえます。彼らはそれぞれの国の国造りに必要な技術を学び、日本人との交流を通じて日本の風俗・伝統・文化に親しみ、充実した成果をもって母国へ帰ります。民族・宗教など、ひとりひとり異なる人たちですが、将来、日本との友好の橋渡しとなる人たちです。

国際協力事業団では、来日した研修員が十分な研修成果を持って帰国し、それぞれの国で国造りの中心となって活躍できるよう、各省庁、地方自治体、公社公団、大学、民間企業などの協力を得て、開発途上国に共通したニーズに基づいた約380の集団研修コースや途上国の独自の要請に応じるための個別研修を実施しています。

アジア、中近東、アフリカ、中南米、オセアニア、欧州の140カ国余に及ぶ国から来日する研修員は、その研修分野も、各々の国の開発の要となる農林水産、保健医療、建築・土木、運輸・通信、原子力など多岐にわたっています。

また、国外で実施される研修事業として、昭和50年より開始された第三国研修があります。これは社会的・文化的に共通の基盤を持つ地域内に特定の技術分野で拠点国を選び、日本政府の援助によりその国が研修実施主体として地域事情に適合した研修を行う方式です。

近年、現地のニーズに合った適正技術の研修ができること、開発途上国間の技術協力(TCDC)を促進できることという観点からコース数も増加、アジアを中心に各地域で実施されています。開発途上国側の関心も高く、かつ、成果もあげていることから一層の拡充が期待されています。

### ▶ 全国11カ所に研修センター

来日した各国の研修員は、全国11カ所の国際研修センターに集い、ここをベースとして国際色豊かな研修生活を送っています。研修員はまず各センターで日本の社会・文化・経済などに関するオリエンテーションを受け、その後、それぞれの研修実施機関へと毎日足を運ぶこととなります。

各センターには宿泊設備はもとより、教室、資料室や、テニスコート、体育館などのレクリエーション施設も整えられています。夜間や週末を利用して、日本語クラス、生



け花、茶の湯などの催し物が開かれ、日本文化をよりよく知ってもらうための活動も行われています。

#### ▶ 広がる友情の輪

各研修センターでは地域の人々と研修員との交流の機会が持たれています。クリスマスや正月に家庭に招待されたり、学校の運動会や地域のサッカー大会に招かれたりすることによって、多くの日本人と知り合い、友情が芽生えます。また、世界各国から集まった研修員は研修センターで他の国からきた人々と出会い、国際的な友情も育っています。

帰国した研修員が自主的に同窓会を結成している国もたくさんあり、国際協力事業団では同窓会の活動に対して支援するなどのアフターケアも行っています。

#### ▶ 青年たちの交流を進める

技術研修を目的とした研修員の受け入れのほかに、青年招へい事業を行っています。これは21世紀を担うアジア・太平洋諸国の青年たちを日本に招いて、日本についての理解を深めてもらうと共に、同世代の日本の青年との友情を培い、21世紀に向けて相互の一層の発展と平和の友好の絆を強めていこうという計画です。昭和59年5月より開始され、61年からアセアン6カ国に加えミャンマー、フィジー、パプア・ニューギニアが、また62年からは中国、韓国がその招へい対象国として加えられ、63年には太平洋諸国からの招へいがソロモン、トンガ等14カ国に拡大され平成3年には南西アジア諸国、平成4年度にはモンゴル、平成5年度にはアフリカ諸国が新しく割当てられました。

計画の実施は国際協力事業団が国内の数多くの青少年団体や官公庁、都道府県の協力を得て行っています。この計画で来日する青年は日本に1ヵ月間滞在します。この間、東京において国際協力事業団が実施する1週間の共通プログラム（オリエンテーション）の後、民間の青少年団体（実施協力団体）の協力で実施される2週間の分野別プログラムに参加します。分野別プログラムでは、都内での見学や講義、合宿やセミナー、そして地方へ移って青年との交流、ホームステイなどが行われます。

これまで交流に参加した日本青年たちからは、次のような感想が寄せられています。

- 各国の青年が自国の現状や将来について真剣に考えていることに感動した。
- 他国のことに、あまりにも無知、無関心であったことを反省させられた。
- 明るく友好的な招へい青年に接して、途上国に対するややもすれば暗かったイメージが一新できた。
- 大所高所から自国やアジアの問題を論議できて知的刺激を受けた。
- 日本青年が失ったと思われるような大切なものを思い出せさせてくれた。

● 言葉の重要性を再認識した。

日本での出会いがきっかけとなって、帰国後も彼らと日本人青年との間で日本青年のアセアン訪問、文通などを通じて友情が育っています。

### 3. 大阪国際センター事業

#### (1) 研修員受入事業

(イ) 大阪国際センターは、その前進である大阪国際研修センターが施設の老朽化したことに加え、研修施設自体も増大する研修員受入数に対応できなくなったため、1994年1月完成、4月に300名を収容できる施設として現在地にオープンされました。

(ロ) 当地域は、①京浜工業地帯に次ぐ製造、流通、貿易業をかかえる近畿経済圏を形成している地域として、製造技術のみならず、開発途上国から近年特に強い要請がある経営、流通、投資を含む貿易促進に関する諸技法、技術への対応、②東京に次ぐ規模の自治体が存する地域として、経済開発に伴う急激な人口集中から派生している途上国の首都及び地方大都市における環境を始めとする各種の都市問題への解決指針、さらには③京都大学、大阪大学を始めとして数多くの教育、学術機関が存する地域として、医療、先端技術の基礎的研究に対する協力等に極めて有効に対応できることに加え④日本の伝統文化の故里である京阪奈を有することから当センターでは、このような関西地域の特色を活かして機械、材料、先端技術、環境、インフラ整備、医療、輸出入促進経営各分野の研修を実施しており、かつ同時に、これら受講者に日本文化への理解を深めさせる役割も果たしています。

(ハ) 平成5年度においては、あらかじめ研修内容、期間等を設定して受講者を募集して行う集団研修コース等（一般国別特設・東欧支援・一般特設を含む）を継続（前年度から当年度にまたがっているもの）7コース、新規（当年度開始するもの）40コース計47コースを実施し、336名の研修員を受け入れています。

また、個々の要請内容に沿ったプログラムを個別に作成して行う個別研修コースについては、継続25コース、新規76コース、計101コースを実施し、179名の研修員を受け入れています。

平成6年度は1,000名の受け入れを予定しております。内訳は集団研修コース（一般国別特設・東欧支援・一般特設を含む）431名（継続7コース48名、新規55コース383名）、個別研修569名です。

なお、平成6年度の集団研修コースの一覧及びコース概要一覧は、それぞれ表1、2、3のとおりです。又、昭和42年以降の受入れ実績は表4のとおりです。

平成6年度大阪国際センター 研修実施計画

I. 集団・一般特設コース (継続)

表1-1

	コースコード 研修コース名	定員	回数 (開設年度)	研修期間 (月)	第1・四半期			第2・四半期			第3・四半期			第4・四半期			主要研修機関
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	J9300393 上級微生物病研究コース	6 (7)	第5回 (平成元年)	4.0 (全11)	9/9(来阪) 9/2			28(閉) 30								文部省 大阪大学微生物病研究所	
2	(特設) J9303106 ※3 自動車整備技術コース	10 (13)	第4回 (平成2年)	4.0 (全11)	9/9(来阪) 9/2			29(閉) 31								雇用促進事業団 京都技能開発センター	
3	J9300511 医療放射線技術指導者コース	7 (6)	第1回 (平成5年)	3.0 (全7)	1/13(来阪) 1/6			27(閉) 29								文部省 大阪大学医療技術短期大学部	
4	J9309443 先進ガラス材料コース	6 (5)	第4回 (平成2年)	3.5 (全6)	1/20(来阪) 9/2			8(閉) 10								通産省工業技術院 大阪工業技術研究所	
5	(特設) J9309155 都市廃棄物対策コース	5 (5)	第2回 (平成4年)	1.0 (全3.0)	1/20(来阪) 1/13	4/22(閉) 4/24										大阪市環境事業局 大阪国際交流センター	
6	(特設) J9303156 文化財修復整備技術コース	6 (5)	第2回 (平成4年)	3.5 (全6.0)	1/21(来阪) 1/6			15(閉) 17								大阪国際センター (直営) 文化庁/京都大学	
7	(特設) J9303214 農業生産のための遺伝子操作技術	10 (10)	第1回 (平成5年)	4.0 (全4.0)	4/7(来阪) 3/31			28(閉) 30								大阪府立大学農学部	

(新規)

1	(特設) J9403192 地方自治体行政実務コース	9 (8)	第2回 (平成5年)	3.0	11			15(閉) 17								茨木市市長公室
2	J9400248 酵素工学コース	5 (5)	第16回 (昭和53年)	6.0	11			30(閉) 2								大阪市経済局 大阪市立工業研究所
3	J9400486 国際知的財産権コース	10 (10)	第5回 (平成2年)	3.0		9		4(閉) 6								財比較法研究センター
4	J9400394 高分子材料工学コース	6 (6)	第6回 (平成元年)	4.0		9		26(閉) 28								大阪市経済局 大阪市立工業研究所
5	J9400433 ※1 農業機械管理コース	10 (11)	第5回 (平成2年)	6.5		9						15(閉) 17				財日本国際協力センター
6	(特設) J9403058 メカトロニクス訓練コース	8 (8)	第7回 (昭和63年)	10.0		9							24(閉) 26			大阪府労働部 東淀川高等職業技術専門学校
7	(特設) J9403123 (準高) アジア・太平洋経営セミナー	12 (11)	第5回 (平成2年)	1.0			4	22(閉) 24								財太平洋人材交流センター
8	J9400367 ワクチン品質管理コース (旧「生物製剤技術コース」)	6 (5)	第8回 (昭和62年)	5.5			4					15(閉) 17				財阪大微生物病研究会
9	J9400485 O A 化技術コース	9 (9)	第5回 (平成2年)	3.0				8				28(閉) 30				財関西情報センター
10	J9400209 ※2 建設施工コースII	10 (12)	第4回 (平成3年)	3.5				8				14(閉) 16				建設省近畿地方建設局 財日本建設機械化協会
11	J9400383 空調技術コース	6 (5)	第6回 (平成元年)	4.0				8				5(閉) 7				ダイキン工業(株)
12	(特設) J9403106 ※2 自動車整備技術コース	10 (12)	第5回 (平成2年)	8.0 (全11)				8						6/29(閉) 7/1		雇用促進事業団 京都技能開発センター
13	(特設) J9403223 野菜及び野菜種苗の高品質安定生産に関するセミナー	10 (10)	第1回 (平成6年)	1.0				15	2(閉) 4							農林水産省 野菜・茶業試験場

注: ( ) 内の人数は受入実績 ※印は個別参加人数

平成6年度大阪国際センター 研修実施計画

表1-2

	コースコード 研修コース名	定員	回数(開設年度)	研修期間 (月)	第1・四半期			第2・四半期			第3・四半期			第4・四半期			主要研修機関
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
14	(特設) J9403155 ※1 都市廃棄物対策コース	8 (7)	第3回(平成4年)	3.5						22			25(閉) 27				大阪市環境事業局 (財)地球環境センター
15	J9400273 循環器病対策コース	7 (7)	第15回(昭和57年)	3.5						22			6(閉) 8				厚生省 国立循環器病センター
16	J9400382 大気汚染対策コース	9 (10)	第6回(平成元年)	3.5						22			8(閉) 10				大阪市環境保健局 (財)地球環境センター
17	J9400381 有機ファインケミカルズ工学コース	6 (6)	第6回(平成元年)	4.0						22			16(閉) 18				大阪市経済局 大阪市立工業研究所
18	(特設) J9403154 ※1 都市緑化行政コース	6 (6)	第3回(平成4年)	2.5						29			11(閉) 13				大阪市建設局 花と緑の推進本部 (財)大阪国際交流センター
19	(特設) J9403131 ※1 都市排水コース	6 (7)	第4回(平成3年)	4.0						29			29(閉)				大阪市下水道局 (財)大阪国際交流センター
20	J9400512 配電システム管理コース	7 (7)	第2回(平成5年)	2.5						30			9(閉) 11				(社)海外電力調査会 関西電力株式会社
21	J9400484 青果物流通コース	7 ( )	第5回(平成2年)	3.0						5			28(閉) 30				大阪市中央卸売市場 (財)大阪国際交流センター
22	(特設) J9403225 口腔顎顔面放射線診療コース	5 ( )	第1回(平成6年)	6.0						5						2(閉) 4	大阪大学歯学部
23	(特設) J9403193 家禽疾病の診断技術コース	6 ( )	第2回(平成5年)	6.5						5						15(閉) 17	大阪府立大学農学部
24	J9400393 上級微生物病研究コース	6 ( )	第6回(平成元年)	7.5 (全11)						5						7/27(閉) 7/29	文部省 大阪大学微生物病研究所
25	(特設) J9403232 博物館技術(収集・保存・展示)	7 ( )	第1回(平成6年)	6.5						26						17(閉) 19	(財)日本国際協力センター
26	(特設) J9403189 日本市場商品流通システムセミナー	8 ( )	第2回(平成5年)	1.0									3 4(閉) 5				(財)太平洋人材交流センター
27	J9400385 建設施工管理者コース	10 ( )	第6回(平成元年)	2.5									3 12(閉) 14				建設省近畿地方建設局 (財)全国建設研修センター
28	J9400427 救急・大災害医療セミナー	8 ( )	第7回(昭和63年)	1.5									3 17(閉) 20				大阪府立千里救命救急センター 大阪国際センター(直営)
29	J9400108 中小企業対策コースⅡ	10 ( )	第5回(平成2年)	2.5												9 17(閉) 19	大阪国際センター(直営) (財)日本国際協力センター
30	(特設) J9403132 社会資本整備計画コース	8 ( )	第4回(平成3年)	2.5												9 17(閉) 19	建設省近畿地方建設局 (財)全国建設研修センター
31	(特設) J9403184 社会資本関連環境影響評価	8 ( )	第2回(平成5年)	2.5												9 22(閉) 24	建設省近畿地方建設局 (財)全国建設研修センター
32	J9400450 湖沼水質保全コース	10 ( )	第5回(平成2年)	3.0												9 24(閉) 26	(財)国際湖沼環境委員会 滋賀県
33	(特設) J9403177 投資環境整備コース	15 ( )	第3回(平成4年)	3.0												9 24(閉) 26	(財)比較法研究センター
34	J9400511 医療放射線技術指導者コース	7 ( )	第2回(平成5年)	3.0 (全6.0)												9 6/26(閉) 6/28	文部省 大阪大学医学部保健学科
35	(特設) J9403222 国際鑑識セミナー	7 ( )	第1回(平成6年)	1.0												16 10(閉) 12	警察庁刑事局鑑識課 (財)警察大学校校友会

平成6年度大阪国際センター 研修実施計画

表1-3

	コースコード 研修コース名	定員 ( )	回数(開設年度)	研修期間 (月)	第1・四半期			第2・四半期			第3・四半期			第4・四半期			主要研修機関
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
36	(特設) J9403217 都市上水道維持管理	7 ( )	第1回(平成6年)	2.5										16		23(閉) 25	大阪市水道局 (財)大阪国際交流センター
37	J9400443 先進ガラス材料コース	6 ( )	第5回(平成2年)	2.5 (全6.0)										16		7/7(閉) 7/9	通産省工業技術院 大阪工業技術研究所
38	(特設) J9403156 文化財修復整備技術コース	6 ( )	第3回(平成4年)	3.0 (全6.0)										16		7/14(閉) 7/16	大阪国際センター(直営) 文化庁/京都大学
39	(特設) J9403220 標準化・品質管理システム活用	8 ( )	第1回(平成6年)	0.5 (全1.0)											3/20	4/19(閉) 4/21	(財)日本規格協会
40	(特設) J9403229 郵便業務管理コース	7 ( )	第1回(平成6年)	1.0												7 2(閉) 4	郵政省郵務局国際課
41	(特設) J9403230 独占禁止法と競争対策	5 ( )	第1回(平成6年)	1.0												31 24(閉) 26	公正取引委員会

平成6年度大阪国際センター 研修実施計画

II. 国別特設コース/東欧研修計画等(予定)

表1-4

	コースコード 研修コース名	定員 ( )	回数(開設年度)	研修期間 (月)	第1・四半期			第2・四半期			第3・四半期			第4・四半期			主要研修機関
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	J9411641 ヴェトナム経済運営管理コース	6 ( )	第3回(平成4年)											8	10		(財)太平洋人材交流センター
2	J9411640 ラオス経済運営管理コース	5 ( )	第3回(平成4年)												31		(財)日本国際協力センター
3	J9411662 カンボディア地域開発計画	5 ( )	第1回(平成6年)										9		26		(財)全国建設研修センター
4	J9411462 ルーマニア経営管理	12 ( )	第4回(平成3年)				17	11(閉) 13									(財)関西生産性本部
5	J9411497 ブルガリア経営管理	12 ( )	第4回(平成3年)							23	18(閉) 19						(財)関西生産性本部
6	J9411496 スロバキア経営管理	7 ( )	第3回(平成4年)											12	9(閉) 11		(財)関西生産性本部
7	生産管理 J9411495 (6) (6) (3) (ルーマニア・ブルガリア・スロバキア3ヶ国合同)	15 ( )	第1回(平成6年)											8	2(閉) 4		(財)関西生産性本部

平成6年度 集団研修コース等概要

表2-1

	コースコード	研修コース名	実施回数	概要
1	J-94-03192	地方自治体行政実務コース (特設)	2	地方自治体において指導的管理的立場にある者を対象に、日本の地方自治、公務員制度の概要を理解させ、地方財政制度、教育行政、福祉、保険、医療、環境衛生等の実務を習得させると共に、地方の活性化策、地方都市整備計画等の作成にも寄与する。
2	J-94-00248	酵素工学コース	16	酵素工学ないし発酵工学に関する業務または研究に従事する技術者に対し、微生物及び酵素に関する基礎的な知識と技術を付与するとともに、日本におけるその広汎な応用振り（食品加工、医薬品、廃棄物処理等）を紹介し、参加国における当該分野の知識と技術の向上を図る。
3	J-94-00486	国際知的財産権コース	5	技術貿易（技術移転等に関する国際貿易）の進行に政策面で指導的役割を果たし、かつ知的財産権制度の政策立案の立場にある専門家を対象に、技術移転および知的財産権（特許、商標、著作権等）に関する主要法律の概要ならびに法律実務の専門知識を付与する。
4	J-94-00394	高分子材料工学コース	6	開発途上国の高分子工業に携わる技術者に対し、プラスチックの製造技術と樹脂特性に関する概括的知識を与えると共に、樹脂をより有効に活用するための高性能・機能化技術についても付与する。
5	J-94-00433	農業機械管理コース	5	農業機械の整備運用、管理運営に従事する者に対し、従来の「農業機械整備コース」で対象としてきた機械の整備技術（保守・修理）に加え、農業機械の適正な機械化計画の立案方法（機械の選択・コスト分析等）に関する知識を付与する。
6	J-94-03058	メカトロニクス訓練コース (特設)	7	開発途上国における「機械系」の職業訓練施設の中堅指導者、工業高校の中堅教員及びこれに準ずる機関における中堅技師・技術者に対し、メカトロニクスに関する包括的な技術・技能の向上訓練を行う。
7	J-94-03123	アジア・太平洋経営セミナー (特設) (準高)	5	アジア・太平洋地域の地域協力の一環として、企業経営・技術開発の発展に資する為の「人材育成（人作り）」に関し、国の政策面及び企業の人材育成計画からの知識情報を付与し、かつ途上国間の情報交換を通じ、その共同計画の促進に寄与する。
8	J-94-00367	ワクチン品質管理コース (旧生物製剤技術コース)	8	ワクチンの製造及び品質管理に携わる技術者を対象に、ワクチンの輸送、保存方法等の実質的な取扱い方法を含めたワクチンの管理に主題を置いて、ワクチンの有効性を維持する為の基礎的な取扱い方法とその良否を判断する為の試験技術を含めた品質管理技術を付与する。
9	J-94-00485	OA化技術コース (特設)	5	OA化計画の管理者に対し、情報化時代の経営管理としてのコンピューターを利用したオフィス・オートメーションに関し、日本での導入事例等を通じ、体系的に推進する考え方を付与する。
10	J-94-00209	建設施工コースⅡ	4	開発途上国における道路を中心とした公共建設事業に従事する土木技術者を対象として、建設施工に関する知識・技術の向上と管理者としての、幅広い視野を有する人材を養成する。
11	J-94-00383	空調技術コース	6	空調の設計・計画に携わる中堅技術者を対象に、各種の新鋭空調設備の設計・施工・管理運営を実施する総合的な技術力ならびに現場技術者の指導養成を行うことができる知識を付与する。
12	J-94-03106	自動車整備技術コース (特設)	5	アフリカ地域の自動車整備技能者を指導育成する中堅技術者または自動車整備事業の管理者を対象に、自動車（ガソリン車・ディーゼル車）の整備・修理が出来る知識（2級整備士）及びその訓練指導技法を付与する。
13	J-94-03223	野菜及び野菜種苗の高品質安定生産に関するセミナー (特設)	1	野菜の研究者・技術者または野菜生産の政策立案担当行政官を対象に高品質安定生産達成のためのリーダー格の人材の養成を目的に、日本の品質・栽培・流通の技術面を紹介し、国際園芸学会の高品質野菜生産戦略分科会参加で研修員の討論を通して研究、普及指導、行政面での方策を検討させる6年度限りのコース。
14	J-94-03155	都市廃棄物対策コース (特設)	3	廃棄物処理技術者及び行政官に対し廃棄物処理技術に関する全般的な知識を付与すると共に都市廃棄物対策にかかるマスタープランの策定・処理事業の運営管理に関する技術を研修する。
15	J-94-00273	循環器病対策コース	13	開発途上国の若手・中堅循環器病医師を対象として共通分野の講義、専門分野別（心臓血管、脳血管・高血圧・腎、動脈硬化、小児、麻酔等）の実習・討論を通じて循環器病の診断と治療の基礎的知識を習得させ、循環器病の専門医を養成する。
16	J-94-00382	大気汚染対策コース	6	開発途上国における大気汚染対策の実施について管理的立場にある技術者あるいは指導的研究者を対象として、大気汚染対策に関する測定技術、防止技術、予測技術、管理技術等総合的な管理知識を付与する。
17	J-94-00381	有機ファインケミカルズ工学コース	6	開発途上国における有機ファインケミカルズ合成、用途開発研究に従事する技術者、研究者に対し、合成技術、分析技術、環境汚染防止技術などを体得させると共に製造技術、応用技術と環境汚染防止技術の紹介を行う。
18	J-94-03154	都市緑化行政コース (特設)	3	都市緑化事業に関わる、技術系行政官に対し、大都市における都市緑化、緑の保全、公園計画に関する政策企画立案、実行計画の策定、運営管理に関する技術を総合的に習得させる。
19	J-94-03131	都市排水コース (特設)	4	下水道整備に従事する土木系技術行政官を対象に都市行政に従事する下水道技術者を対象に、都市域における雨水排水対策を中心とした下水道整備計画策定にかかる知識と技術を付与する。



平成6年度 集団研修コース等概要

表2-2

	コースコード	研修コース名	実施回数	概要
20	J-94-00512	配電システム管理コース	2	電力供給の信頼度の向上のために、配電自動化システム等の新しい技術や効率的な電力供給に必要な品質管理等の管理技術、技術者養成のための教育手法等を研修することにより、配電技術分野における管理・指導ができる技術者を養成する。
21	J-94-00484	青果物流通コース	5	青果物流通施策担当行政官に対し、青果物流通の歴史及び仕組みの現状と政策を、「中央卸売市場」を中心に「青果物生産地」から「小売市場・消費者」に至る各過程を総合的に紹介することにより、優良市場形成の為の計画立案に必要な知識を付与する。
22	J-94-03225	口腔顎顔面放射線診療コース (特設)	1	歯科医師等を対象に、自国において専門医、教育者として指導できる人材の養成を目的に、日本の口腔顎顔面放射線診療の広さ、深さ等を理解せしめると共に診療技術を付与する。
23	J-94-03193	家禽疾病診断の技術コース (特設)	2	家禽疾病及び食肉の衛生管理に従事するものを対象とし、獣医学科の6研究室において、疾病の診断および食肉の汚染検査にかかわる基本的手法の研修を、実施し、途上国における家禽の衛生管理の改善を計る。
24	J-94-00393	上級微生物病研究コース	6	微生物病分野の上級研究者に対し、バイオテクノロジー及び高度技術の導入によって近年著しく進歩した微生物病研究(微生物学、ウイルス学、寄生虫学、遺伝子工学等)の分野における最新の情報と技術を付与する。
25	J-94-03232	博物館技術(収集・保存・展示)コース (特設)	1	博物館の運営・管理に携わる専門職員を対象に、観光振興および教育文化活動の拠点として博物館を運営する指導者として人材の養成を目的に博物館の役割・機能を理解させ、資料収集・保存・展示・教育普及等個別の知識・技術を習得させる。
26	J-94-03189	日本市場商品流通システムセミナー (特設)	2	中央政府または主要な経済・業界団体の輸出入振興部門において指導的立場にある者を対象に、日本の複雑な商品流通システムの現状を理論および現場での研修を通じて習得させ、開発途上国の輸出促進に資する。
27	J-94-00385	建設施工管理者コース	6	民間企業の中堅幹部および政府系関連の諸機関に属する者を含む建設施工管理者を対象に、施工計画及び施工管理に関する実務的な知識・応用技術等を習得するため、講義・事例演習・グループ研究・現場見学等を行い、もって開発途上国における現地に役立つ管理技術を習得した施工管理者を養成する。
28	J-94-00427	救急・大災害医療セミナー	7	開発途上国の救急医療施設または医療行政組織の中にあつて、指導的立場で救急医療や災害緊急医療に携わる幹部医師を対象として、我が国の救急医療体制の整備過程と現状を紹介するとともに、各国の救急・大災害医療の事情紹介、比較研究を行い、参加各国の救急医療・大災害医療の改善と大災害時の国際医療協力の発展に寄与する。
29	J-94-00108	中小企業対策コースⅡ	5	中小企業関係の国および地方自治体等行政機関、金融機関、共同組合等で中小企業振興に直接従事する中堅職員に対し、日本の中小企業の現状及びその振興施策について実地に即して概略的に紹介することにより、参加研修員が自国で中小企業振興のための方策を策定する際に参考となる知識を付与する。
30	J-94-00108	社会資本整備計画コース (特設)	4	開発途上国は経済的社会的発展を目指し、産業の振興を図っていく為に道路や鉄道港湾などの流通基盤、水資源の開発等社会資本の整備が不可欠である。その為、社会資本(産業基盤、生活環境)整備の調査・計画に携わる技術系行政官に必要な知識・情報・技術を付与し、養成する。
31	J-94-03184	社会資本関連環境影響評価コース (特設)	2	開発や、社会資本整備が環境に及ぼす影響を最小にし、良好な生活環境、自然環境の保全、開発途上国における開発と環境の調和を図ることを目的に、地域計画、環境調査、環境予測手法、環境保全対策等の社会資本整備に関連した環境影響評価の知識・技術を習得した人材を育成する。
32	J-94-00450	湖沼水質保全コース	5	湖沼水質の保全施策立案あるいは管理計画策定に携わる技術系行政官に対し、「湖沼の水質保全管理」に関する測定技術・防止技術・予測技術・管理技術の紹介とともに、湖沼の水質の適正管理のための「行政的施策」の立案・策定に必要な基礎知識を付与する。
33	J-94-03177	投資環境整備コース (特設)	3	わが国の対外直接投資に関する法制度及びわが国企業の直接投資のためのフィージビリティ調査の実情、並びに、対日投資に対する保護制度に関する総合的・専門的知識を付与することにより、開発途上国における投資環境整備をできる人材を育成する。
34	J-94-00511	医療放射線技術指導者コース	2	医療放射線技術分野での指導者を対象とし、①放射線技術の基礎的学科目②放射線医学に関連した技術の病院内臨床実習③指導者、教育者として必要な学識の講義とカンファレンス等を通して、品質管理思想の徹底を含めた技術水準の向上、技術教育の高度化に対応する人材の育成をはかる。
35	J-94-03222	国際鑑識セミナー (特設)	1	国家中央警察の鑑識責任者を対象に、科学的な犯罪鑑識手法を駆使できる人材の養成を目的に、日本の指紋鑑識制度の紹介を手始めに指紋採取方法、犯罪現場での鑑識活動の要領を実習により習得させる。
36	J-94-03217	都市上水道維持管理コース (特設)	1	水道施設の維持管理に携わっている技術者又は技術行政官を対象に、上水道施設の維持管理、浄水処理のできる技術者の養成を目的に、大阪市における上水道施設維持管理及び浄水処理技術、都市上水道計画、設計、施工等の知識と技術を習得させる。
37	J-94-00443	先進ガラス材料コース	5	従来の「ガラス工学コース」で対象としてきた、板ガラス・瓶ガラスに加え、先進ガラス材料(光の機能・電気の機能・表面の機能)に関する全般および3機能中の特定分野の技術開発知識を付与する。

平成6年度 集団研修コース等概要

	コースコード	研修コース名	実施回数	コース等概要
38	J-94-03156	文化財修復整備技術コース (特設)	3	文化財の保存と整備に関わる技術者に対し、文化財修復整備に関する基礎的・専門的技術（建造物の修復工作、埋蔵文化財の発掘・修復）を習得させ、文化財保存整理に貢献しうる人材を育成する。
39	J-94-03220	標準化・品質システム活用コース (特設)	1	アセアン各国におけるISO9000をベースとした品質システムの導入と、製品品質向上のためのTQM導入について、その中核となる人材（トレーナー）の育成を目的に国家標準化機関（NSB）、品質管理教育・訓練機関の職員または、民間企業の標準化・品質管理の導入・推進を指導する立場の者を対象に、TQMの基本理念について共通の認識を持たせた上で、モチベーションTQM指導の方法論、評価方法及び、指導カリキュラムの作成等を習得させる。
40	J-94-03229	郵便業務管理コース (特設)	1	太平洋島しょ諸国の郵便事業運営管理者等を対象に、郵便事業実務の改善を進める人材の養成を目的に郵便局運営手法を紹介し、自国の問題解決方法につき考察させる。
41	J-94-03230	独占禁止法と競争対策コース (特設)	1	アジアにおいて独禁法制を有している国および市場経済化の一環として新たに競争法制を導入する国の独禁当局の中堅の行政官を対象に、競争政策の充実や競争法の制定に携わる人材の育成を目的に、日本の独禁法の紹介および研修員との討論を通じて、各国の法制における問題解決方法を検討させる。

平成6年度 国別特設コース／東欧支援計画等概要

表3

	コースコード	研修コース名	実施回数	コ ー ス 等 概 要
1	J-94-11641	ベトナム経済運営管理コース	3	市場メカニズム、我が国の経済発展の要因、日本的経営の特徴等を現場を中心として研修することによりベトナムの市場経済化に寄与する。
2	J-94-11640	ラオス経済運営管理コース	3	移行期経済下にあるラオスの経済運営に携わる中堅公務員を対象に、特に市場経済のあり方に重点をおき、日本の産業基盤整備・経営管理等の講義を行い、市場原理重視経済やスムーズな移行を可能ならしめる経済運営のノウハウを習得させる。
3	J-94-11662	カンボディア地域開発計画コース	1	上級行政官を対象に地域開発計画策定、道路・橋梁建設計画策定、維持管理・補修及び環境への配慮等各現場視察、意見交換を通して同国の復興支援の一助に資する。
4	J-94-11462	ルーマニア経営管理コース	4	ルーマニアにおける国営又は民間企業の管理者を対象に市場経済メカニズムの中における経営管理、特に消費者ニーズの多様化の中における経営計画の方法とその実際に関して研修を行い、ルーマニアの計画経済から自由市場経済への転換促進に寄与する。
5	J-94-11497	ブルガリア経営管理コース	4	ブルガリアにおける国営又は民間企業の管理者を対象に市場経済メカニズムの中における経営管理、特に消費者ニーズの多様化の中における経営計画の方法とその実際に関して研修を行い、ブルガリアの計画経済から自由市場経済への転換促進に寄与する。
6	J-94-11495	スロバキア経営管理コース	3	スロバキアにおける国営又は民間企業の管理者を対象に市場経済メカニズムの中における経営管理、特に消費者ニーズの多様化の中における経営計画の方法とその実際に関して研修を行い、スロバキアの計画経済から自由市場経済への転換促進に寄与する。
7	J-94-11495	ルーマニア・ブルガリア・スロバキア3ヶ国合同生産管理コース	1	計画経営から市場経済への移行を計画しているルーマニア、ブルガリア、スロバキアにおける生産計画・管理、特に消費者ニーズの多様化に対応するための方法と実際に関して、そのノウハウを紹介し、各国における市場経済発展に資する。

昭和42年度～平成5年度 集団研修コース等研修員受入実績表

表4-1  
(単位：人)

コース名	年 度																集団研修コース関連巡回指導調査団派遣実績			
	42 53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 1	2	3	4	5	計	年 度	派 遣 国 名	団員数
上級技能者訓練コース	110	8	10	10	10	10	10	10	9	10							197	51 59	スリランカ、エジプト、エチオピア ビルマ、マレーシア、シンガポール	3 3
鉄道線路保守改良コース	94	8	9	9	7	8	9	9	9	8	8	8					186	62	アルゼンティン、ボリビア	3
農業機械整備コース	135	11	11	11	9	12	12	11	10	10	9	11					252	52 63	インドネシア、マレーシア、フィリピン エジプト、タンザニア	3 3
中小企業対策コース	115	6	10	11	10	10	9	12	12	12	14	11					232	54 63	マレーシア、フィリピン、タイ メキシコ、ブラジル	2 3
貨幣・勲章製造コース	54	4	5	5	5	5	5	6	6		6						101	57	ネパール、タイ	3
ガラス工学コース	76	6	10	8	9	10	7	10	9	9	9	9					172	58 平成2	タイ、インドネシア、フィリピン アルゼンティン、ブラジル	3 3
微生物病研究コース	57	8	8	8	5	6	7	6	6	9	8	6					134	56 平成1	ブラジル、パラグアイ インドネシア、タイ、フィリピン	3 4
プラスチックコース	63	7	10	8	7	7	8	5	9	6	5						135	49 61	フィリピン、シンガポール、タイ、イラン トルコ、エジプト	3 3
配電技術コース	42	8	9	7	7	8	7	7	9	6	7	7	8	6	6		144	平成1	タイ、バングラデシュ、ネパール	3
医療放射線技術コース	42	7	8	8	8	10	8	7	9	7	9	9	6	8	8		154	55 63	ビルマ、スリランカ、インドネシア、タイ ネパール	3 4
建設施工コース	26	11	10	9	9	10	9	10	11	10	10	12	9				146	60	パキスタン、ケニア、サウジアラビア	3
建設施工Ⅱ														8	10	11	29	平成4	ケニア、タンザニア	3
計量標準コース	4	4	4	4	5	5	6	4	6	5	5						52			
酵素工学コース	5		4	5	5	5	5	5	5	5	6	6	5	5	5	5	76	平成2	中国、タイ	3
金型工作技術コース		6	6	5	6	7	5	6	3	5							49			
循環器病対策コース					5	7	5	8	9	5	7	7	8	5	6	7	79	平成1	ブラジル、アルゼンティン	3
生物製剤技術コース										7	6	6	7	5	6	5	42	平成4	インドネシア、タイ、フィリピン	4
船舶整備コース	22																22			
印刷技術コース	50																50			
菌科コース	30																30			
奇形医学コース	7																7			
醗酵工学コース	11																11			
整形外科リハビリテーションコース	6																6			
農業機械（再研修）コース	6																6			
電子工学コース	66	6															72	52	フィリピン、イラン、ジョルダン	2
日墨交流品質管理（製織）コース	4	1															5			
建設機械整備コース	66	10	11	11													98			
都市緑化行政（特設）															6	6	12			
都市廃棄物対策（特設）															6	5	11			
文化財修復整備技術（特設）															6	5	11			
メカトロニクス訓練コース（特設）											7	8	8	5	8	7	43	平成5	ボリビア、パラグアイ	3
精密金型コース											6						6			
救急・大災害医療セミナー											8	10	11	7	8	8	52	平成5	タイ、インドネシア	3
上級微生物病研究コース												6	6	6	6	7	31			
高分子材料工学コース												5	6	6	6	6	29			
有機ファインケミカルズ工学コース												6	6	6	5	5	28			
大気汚染対策コース												10	10	8	9	10	47	平成3	ブラジル、メキシコ	3

昭和42年度～平成5年度 集団研修コース等研修員受入実績表

表4-2

(単位：人)

年 度 コ ー ス 名	42	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成	2	3	4	5	計	集団研修コース関連巡回指導調査団派遣実績		
	53											1						年 度	派 遣 国 名	団員数
空調技術コース												4	6	6	7	6	29			
国際花と緑の博覧会セミナー（特設）												24					24			
建設施工管理者コース												9	10	10	10	10	49			
農業機械管理コース													10	8	10	10	38			
港湾開発政策セミナー（特設）													14				14			
インド経営管理コース（国別特設）													8				8			
技術貿易／国際知的財産権コース													11	6	8	7	32			
自動車整備技術コース（特設）													11	9	12	10	42			
湖沼水質保全コース													9	10	11	10	40			
先進ガラス材料コース													5	6	5	5	21			
中小企業対策Ⅱコース													9	10	10	10	39	平成5	ケニア、エジプト	4
アジア／太平洋経営・技術セミナー													9	10	14	11	44			
ポーランド経営管理コース（国別特設）													25	20	20		65			
O A 化技術コース													5	6	6	6	23			
青果物流通コース													7	5	6	7	25			
社会資本整備計画コース（特設）														9	8	7	24			
都市排水コース（特設）														6	5	6	17			
チェコ・ユーゴ中小企業振興セミナー（国別特設）														18			18			
投資環境整備（特設）															8	9	17			
ベトナム経済運営管理（国別特設）															7	6	13			
配電システム管理コース																6	6			
（特設）地方自治体行政実務コース																8	8			
（特設）家禽疾病の診断技術コース																6	6			
（特設）日本市場商品流通システムセミナー																7	7			
医療放射線技術指導者コース																6	6			
（特設）社会資本関連環境影響評価																8	8			
（特設）W I D 統計セミナー																8	8			
（特設）農業生産のための遺伝子操作技術																10	10			
（国別）モンゴル企業管理コース																4	4			
（国別）ラオス経済運営管理コース																5	5			
（国別）ルーマニア国鉄近代化コース																6	6			
（国別）選挙運営管理技術コース																8	8			
集 団 コ ー ス	1,091	111	125	119	107	120	112	116	122	114	130	174	229	214	248	289	3,421			
個 別 研 修	20*	32	23	36	37	75	75	58	96	104	99	122	93	114	132	179	1,295			
合 計	1,111	143	148	155	144	195	187	174	218	218	229	296	322	328	380	468	4,716			

\*：大阪国際研修センターにおける個別研修員の受け入れは昭和52年に開始した。

## (2) 日本語教育事業

### (イ) 実施概要

日本での技術研修を円滑に進め、日本会社へのアプローチを容易ならしめ、わが国への理解を深める一手段として、原則として、集団研修コース受講の全研修員に対し日本語教育を実施しています。

日本語教育には、技術研修プログラムの一環として受講を義務付けている集中講座（昼間5時間／日）と希望者のみを対象とした一般講習（夜間2時間／回）があり、集団研修コースの性格、期間等により集中講習時間数を決定しています。

### (ロ) 実施一覧

平成5年度においては、館外宿泊研修員に対しては、センター外に教室を確保することにより受講しやすい環境作りに努めました。また、個別研修コース研修員からの受講希望に対しても、集団研修コースの一般講習への編入の便を図るなど、これら要望に応えました。

平成5年度の集中講習及び一般講習の実施状況は表5及び6のとおりです。

平成5年度 集中講習実施状況一覧表

表5-1

No.	研修コース名	人数	国名	日本語研修実施期間	日数	講習時間	到達目標	使用テキスト	担任	備考
1	継続 文化財修復整備技術	6	エジプト(1)、インドネシア(1) マレーシア(1)、パキスタン(1) ペルー(1)、タイ(1)	93. 4. 1~93. 4.16	12日	60h	L1	ローマ字版第一分冊 VTR、聴解テープ 専門用語プリント	吉川 一階	
2	継続 投資環境整備	8	ブラジル(1)、中国(1)、マレーシア(1) ペルー(1)、フィリピン(1)、タイ(1) ヴェトナム(1)、ブルネイ(1)	93. 4. 1~93. 4. 2	2日	10h	L1	25H教材 練習プリント	小林 三原	
3	酵 素 工 学	5	中国(1)、フィリピン(1)、ケニア(1) タイ(1)、ブラジル(1)	93. 4.19~93. 5. 6	10日	50h	L1	改訂版 100H VTR、テープ	小林 橋	
4	高分子材料工学	5	ブラジル(1)、中国(1)、マレーシア(1) メキシコ(1)、フィリピン(1)	93. 5.24~93. 6. 3	9日	45h	L1	ローマ字版第一分冊 VTR、聴解テープ ハンドアウト	小林 一階	
5	農業機械管理	10	中国(1)、エジプト(1)、エチオピア(1) インド(1)、ケニア(1)、メキシコ(1) ナイジェリア(1)、フィリピン(1) シリア(1)、タイ(1)	93. 5.24~93. 5.28	5日	25h	L1	ハンドアウト JICAビデオ	林 赤松	茨木福祉文化会館
6	生物製剤技術	5	中国(1)、インドネシア(1)、フィリピン(1) ケニア(1)、タイ(1)	93. 5.24~93. 6.18	19日	95h	L2	技術研修のための日本語 (試用版) JICAビデオ 数のききとり	吉川 内田	茨木福祉文化会館
7	メカトロニクス訓練	7	インドネシア(1)、フィリピン(1) タンザニア(1)、ボリヴィア(1) メキシコ(1)、ペルー(1)、フィジー(1)	93. 5.24~93. 6. 4	10日	50h	L1	改訂版 100H VTR、テープ、絵教材	河野 橋	茨木福祉文化会館
8	国際知的財産権	7	アルバニア(1)、中国(1)、インド(1) 韓国(1)、マレーシア(1)、パキスタン(1) トルコ(1)	93. 7.19~93. 7.23	5日	25h	L1	ハンドアウト VTR	林 小林	茨木福祉文化会館 沢池公民館
9	大気汚染対策	10	クウエート(1)、ブラジル(1)、チリ(1) 中国(1)、コロンビア(1)、エジプト(1) イラン(1)、メキシコ(1)、タイ(1) インドネシア(1)	93. 7.19~93. 7.30	10日	50h	L1	ローマ字版第一分冊 改訂版、VTR 聴解 テープ、プリント	赤松 一階	茨木市民会館

平成5年度 集中講習実施状況一覧表

表5-2

No.	研修コース名	人数	国名	日本語研修実施期間	日数	講習時間	到達目標	使用テキスト	担任	備考
10	O A 化 技 術	6	ブラジル(1)、中国(1)、インドネシア(1) マレーシア(1)、カタール(1)、タイ(1)	93. 8.16~93. 8.20	5日	25 h	L 1	OITC作成ブックレット JICA VTR 数のききとり	吉川 内田	茨木福祉文化会館
11	建 設 施 工 II	11	ボリヴィア(1)、ブラジル(1) サウジアラビア(1)、カンボディア(1) インドネシア(1)、ジョルダン(1)、ケニア(1) マレーシア(1)、ニカラグア(1) シンガポール(1)、タイ(1)	93. 8.16~93. 8.27	10日	50 h	L 1	技術研修のための日本語改訂試用版 100H VTR、テープ、絵教材	河野 橋	茨木福祉文化会館
12	有機ファインケミカル ズ工学	5	中国(1)、インドネシア(1) マレーシア(1)、フィリピン(1)、タイ(1)	93. 8.16~93. 8.19	4日	20 h	L 1	冊子、聴解テープ VTR、プリント 絵教材	一階	茨木市民会館
13	空 調 技 術	6	中国(1)、ガーナ(1)、マレーシア(1) サウジアラビア(1)、シンガポール(1) タイ(1)	93. 8.16~93. 8.27	10日	50 h	L 1	第一分冊 練習プリント	小林 赤松	沢池公民館
14	循環器病対策	7	アルゼンティン(1)、バングラデシュ(1) ブラジル(1)、エジプト(1)、ガーナ(1) ネパール(1)、セيشェル(1)	93. 8.23~93. 9. 3	10日	50 h	L 1	ローマ字版第一分冊改訂版、VTR、聴解テープ、プリント	吉川 一階	茨木福祉文化会館
15	都 市 緑 化 行 政	6	ブラジル(1)、中国(1)、ケニア(1) マレーシア(1)、タイ(1)、トルコ(1)	93. 9. 6~93. 9.10	5日	25 h	L 1	ハンドアウト JICA VTR	林 河野	
16	配電システム管理	6	バングラデシュ(1)、ドミニカ(1) ネパール(1)、ペルー(1)、タンザニア(1) タイ(1)	93. 9.14~93. 9.17	3日	15 h	L 1	25H用集中用冊子 VTR、絵教材	橋	茨木福祉文化会館
17	上級微生物病研究	7	アルジェリア(1)、バングラデシュ(1) パラグアイ(1)、ペルー(1) フィリピン(1)、タンザニア(1)、タイ(1)	93. 9.13~93.10.15	18日	90 h	L 2	改訂試用版(ローマ字) JICA VTR、数のききとりテープ、「ヤンさんと日本の人々」VTR	吉川 赤松	
18	自動車整備技術	13	エチオピア(1)、ガーナ(1)、ケニア(3) マラウイ(1)、ニジェール(1)、セネガル(1) タンザニア(1)、ウガンダ(1)、ザンビア(1) ジンバブエ(1)、南アフリカ(1)	93. 9.13~93.10. 8	18日	90 h	L 2	ローマ字版第一分冊 プリント、絵教材	小林 河野	茨木福祉文化会館 茨木市民会館 茨木郵便局



平成5年度 集中講習実施状況一覧表

表5-3

No.	研修コース名	人数	国名	日本語研修実施期間	日数	講習時間	到達目標	使用テキスト	担任	備考
19	都市排水	6	ブラジル(1)、インドネシア(1)、ケニア(1) モロッコ(1)、フィリピン(1)、タイ(1)	93. 9.13~93. 9.24	8日	40h	L1	ローマ字版第一分冊 改訂版、VTR、聴解 テープ、絵教材	一階 田中	茨木福祉文化会館 茨木市民会館
20	地方自治体行政実務	8	コロンビア(1)、ケニア(1)、ラオス(1) パキスタン(1)、ペルー(1)、フィリピン(1) タンザニア(1)、ヴェトナム(1)	93. 9.13~93. 9.24	8日	37.5h	L1	改訂版、VTR、テー プ	林 宇野	茨木市民会館
21	家禽疾病の診断技術	6	ガーナ(1)、ネパール(1)、パキスタン(1) ペルー(1)、スリランカ(1) タンザニア(1)	93. 9.20~93.10.15	18日	90h	L2	聴解テープ、VTR 練習プリント 絵教材	内田 一階	茨木市民会館 茨木福祉文化会館 沢池公民館
22	青果物流通	10	バングラデシュ(1)、ブルガリア(1) 中国(1)、グレナダ(1)、インドネシア(2) マレーシア(1)、南アフリカ(1) タンザニア(1)、ヴェネズエラ(1)	93.10. 4~93.10. 8	5日	25h	L1	25H用冊子、VTR 絵教材	宇野 田中	茨木市民会館
23	建設施工管理者	10	ブラジル(1)、エチオピア(1)、香港(1) ホンデュラス(1)、インドネシア(1) イラン(1)、マレーシア(1)、ウガンダ(1) シンガポール(1)、スリランカ(1)	93.10. 8~93.10.14	4日	20h	L1	ハンドアウト VTR、絵教材	橋	茨木福祉文化会館
24	中小企業対策Ⅱ	10	中国(1)、インドネシア(1)、ウガンダ(1) グアテマラ(1)、モンゴル(1) パキスタン(1)、オマーン(1) フィリピン(1)、タイ(1)、エジプト(1)	94. 1.14~94. 1.20	5日	25h	L1	OITC作成テキスト VTR	今井 田中	
25	湖沼水質保全	12	ボリビア(1)、ブラジル(1)、エジプト(1) ヴェネズエラ(1)、中国(1)、フィリピン(1) シンガポール(1)、タイ(2)、ケニア(1) カンボディア(1)、インドネシア(1)	94. 1.14~94. 1.20	5日	25h	L1	ハンドアウト VTR、絵教材	福岡 橋	茨木市民会館
26	医療放射線技術指導者	6	タイ(1)、ドミニカ(1)、フィリピン(1) チリ(1)、ザンビア(1)、インドネシア(1)	94. 1.17~94. 1.28	10日	50h	L1	100H改訂版 プリント	赤松 宇野	茨木福祉文化会館
27	社会資本整備	7	エジプト(1)、フィリピン(1)、ブラジル(1) 中国(1)、タイ(1)、パキスタン(1) インドネシア(1)	94. 1.17~94. 1.21	5日	25h	L1	OITC作成ハンド アウトテキスト JICA作成ビデオ	吉川 西村	

平成5年度 集中講習実施状況一覧表

表5-4

No.	研修コース名	人数	国名	日本語研修実施期間	日数	講習時間	到達目標	使用テキスト	担任	備考
28	投資環境整備	9	タイ(1)、フィリピン(1)、コロンビア(1) ペルー(1)、マレーシア(1)、中国(1) パキスタン(1)、韓国(1)、ケニア(1)	94. 1.14~94. 1.20	5日	25 h	L 1	ハンドアウト 数のききとり	河野 小林	
29	社会資本関連環境影響 評価	8	マレーシア(1)、メキシコ(1) フィリピン(1)、タイ(1)、ブラジル(1) 中国(1)、香港(1)、インドネシア(1)	94. 1.17~94. 1.21	5日	25 h	L 1	冊子、ビデオ 聴解テープ、プリント	一階 内田	茨城福祉文化会館
30	先進ガラス材料	5	インド(1)、インドネシア(1) アルゼンティン(1)、フィリピン(1) ジョルダン(1)	94. 1.24~94. 2. 4	10日	50 h	L 1	100H改訂版 聴解テープ	河野 田中	茨城福祉文化会館
31	文化財修復整備技術	5	カンボディア(1)、中国(1) パキスタン(1)、ペルー(1)、タイ(1)	94. 1.24~94. 2.18	19日	95 h	L 2	改訂試用版 VTR、絵教材 練習プリント	吉川 一階	
32	都市廃棄物対策	5	フィリピン(1)、ペルー(1)、ブラジル(1) マレーシア(1)、インドネシア(1)	94. 1.24~94. 1.28	5日	25 h	L 1	ハンドアウト VTR、絵教材	内田 橋	茨木市民会館
計	32コース	237人	54ヶ国		276.5日	1,382.5 h				

平成5年度 一般講習実施状況一覧表

表6-1

No.	研修コース名	人数	国名	日本語研修実施期間	日数	講習時間	到達目標	使用テキスト	担任	備考
1	継続 自動車整備技術	8	ケニア(1)、ニジェール(1)、セネガル(1) ウガンダ(1)、ガーナ(1)、ネパール(2) パラグアイ(1)	93. 4. 1~93. 6.22	20日	40h	L 2	第二分冊 プリント	一階 吉川	
2	継続 文化財修復整備 技術	4	インドネシア(1)、マレーシア(1) パキスタン(1)、バレー(1)	93. 4.19~93. 5.14	10日	20h	L 2	ローマ字版第一分冊 改訂版、第二分冊 プリント、VTR 絵教材	一階 今井	
3	継続 投資環境整備	8	ブラジル(1)、中国(1)、マレーシア(1) バレー(1)、フィリピン(1)、タイ(1) ヴェトナム(1)、ブルネイ(1)	93. 4. 5~93. 4.30	10日	20h	L 1	50Hテキスト	竹内 三原	
4	継続 都市廃棄物対策	2	ブラジル(1)、中国(1)	93. 4. 1~93. 4.16	6日	12h	L 1	プリント	元村	
5	継続 医療放射線技術 +先進ガラス	7	パキスタン(1)、フィリピン(1)、タイ(1) 中国(1)、コスタリカ(1)、インドネシア(1)	93. 4.13~93. 6.24	15日	30h	L 1	第二分冊 ハンドアウト	赤松 内田	
6	酵 素 工 学	5	中国(1)、フィリピン(1)、ケニア(1) タイ(1)	93. 5.10~93. 6. 2	10日	20h	L 1	ローマ字版第一分冊	竹内 元村	
7	高 分 子 材 料 工 学	4	ブラジル(1)、中国(1)、マレーシア(1) フィリピン(1)	93. 6. 4~93. 7. 2	12日	24h	L 1	ローマ字版第一分冊 プリント	吉村 橘	
8	農 業 機 械 管 理	6	中国(1)、エチオピア(1)、インド(1) フィリピン(1)、シリア(1)、ザンビア(1)	93. 6. 2~93. 9.13	25日	50h	L 1	改訂試用版、テープ VTR「ヤンさんと日本の 人々」、「JAPANESE FOR BUSY PEOPLE」	河野 竹内	岸辺市民センター
9	生 物 製 剤 技 術	5	中国(1)、インドネシア(1) フィリピン(1)、ケニア(1)、タイ(1)	93. 6.29~93.10.20	25日	50h	L 2	テープ 楽しく聞こう	田岡	琴弾荘

平成5年度 一般講習実施状況一覧表

表6-2

No.	研修コース名	人数	国名	日本語研修実施期間	日数	講習時間	到達目標	使用テキスト	担任	備考
10	メカトロニクス訓練	1	ペルー(1)、フィジー(1)、中国(1) タイ(1)、韓国(1)	93. 6. 7~93. 8. 6	25日	50 h	L 1	ローマ字版第一分冊 改訂版、絵教材 ハンドアウト	内田 一階	
11	国際知的財産権	4	中国(1)、韓国(1)、マレーシア(1) トルコ(1)	93. 8. 2~93. 8.18	8日	16 h	L 1	ハンドアウト プリント	吉村 赤松	岸辺市民センター
12	大気汚染対策	8	ブラジル(1)、チリ(1)、中国(1) コロンビア(1)、エジプト(1) クウェート(1)、メキシコ(1)、タイ(1)	93. 8. 2~93. 8.30	10日	20 h	L 1	ローマ字版第一分冊 練習プリント	小林 元村	ホテル京阪京橋
13	O A 化 技 術	5	ブラジル(1)、インドネシア(1)、タイ(1) マレーシア(1)、中国(1)	93. 8.30~93.10. 8	15日	30 h	L 1	50Hテキスト	内田 久保	岸辺市民センター
14	建設施工Ⅱ	11	ボリビア(1)、ケニア(1) サウジアラビア(1)、ジョルダン(1) マレーシア(1)、シンガポール(1) カンボディア(1)、インドネシア(1) ニカラグア(1)、ブラジル(1)、タイ(1)	93. 8.30~93.10. 7	11日	22 h	L 1	ローマ字版第一分冊 改訂版、プリント 絵教材	田中 一階	
15	有機ファインケミカルズ工学	5	中国(1)、インドネシア(1)、マレーシア(1) フィリピン(1)、タイ(1)	93. 8.20~93.10.20	20日	40 h	L 1	ハンドアウト 絵教材 練習プリント	宇野 赤松	
16	空調技術	6	中国(1)、ガーナ(1)、マレーシア(1) サウジアラビア(1)、シンガポール(1) タイ(1)	93. 8.30~93. 9.29	10日	20 h	L 1	100H改訂版	林 竹内	ホテル サンルート堺
17	循環器病対策	5	アルゼンティン(1)、ブラジル(1) セイシェル(1)、バングラデシュ(1) ガーナ(1)	93. 9. 8~93.10.22	15日	30 h	L 1	100H改訂版	吉村 元村	豊一市民センター
18	都市緑化行政	6	ブラジル(1)、中国(1)、ケニア(1) マレーシア(1)タイ(1)、トルコ(1)	93. 9.27~93.10.22	9日	18 h	L 1	ハンドアウト プリント	吉村 吉川	豊一市民センター

平成5年度 一般講習実施状況一覧表

表6-3

No.	研修コース名	人数	国名	日本語研修実施期間	日数	講習時間	到達目標	使用テキスト	担任	備考
19	配電システム管理	5	タンザニア(1)、バングラデシュ(1) タイ(1)、ペルー(1)、ネパール(1)	93. 9.20~93.10.27	13日	26h	L 1	ハンドアウト 絵教材	今井 橋	岸辺市民センター
20	上級微生物+ 自動車整備 合同	15	アルジェリア(1)、バングラデシュ(1) エチオピア(1)、ガーナ(1)、ジンバブエ(1) ケニア(1)、マラウイ(1)、ニジェール(1) パラグアイ(1)、ペルー(1)、フィリピン(1) セネガル(1)、タンザニア(1)、ウガンダ(1) ザンビア(1)	93.10.19~93.11. 4	6日	12h	L 2	ローマ字版第一分冊 改訂版、第二分冊 絵教材、VTR「ヤン さんと日本の人々」	一階 宇野	
21	上級微生物病研究	5	アルジェリア(1)、バングラデシュ(1) パラグアイ(1)、ペルー(1) フィリピン(1)	93.11 9~94. 1.13	14日	28h	L 2	ローマ字版第一分冊 改訂版、第二分冊 絵教材、VTR「ヤン さんと日本の人々」	今井 田中	
22	自動車整備技術	10	エチオピア(1)、ガーナ(1)、マラウイ(1) ニジェール(1)、セネガル(1) タンザニア(1)、ウガンダ(1)、ザンビア(1) ジンバブエ(1)、ケニア(1)	93.11 9~94. 1.13	14日	28h	L 2	ローマ字版第一分冊 改訂版、第二分冊 プリント、絵教材	宇野 一階	
23	都市排水	5	ブラジル(1)、ケニア(1)、ラオス(1) モロッコ(1)、フィリピン(1)	93. 9.29~93.11. 1	9日	18h	L 1	改訂版、絵教材	中山 竹内	オーバルホテル
24	地方自治体行政実務	8	コロンビア(1)、ケニア(1)、ラオス(1) パキスタン(1)、ペルー(1)、フィリピン(1) タンザニア(1)、ヴェトナム(1)	93. 9.27~93.10.29	10日	20h	L 1	ローマ字版第一分冊 改訂版、絵教材 プリント	西村 田中	
25	家禽疾病の診断技術	2	パキスタン(1)、スリランカ(1)	93.10.19~93.12.20	16日	32h	L 2	第二分冊 ハンドアウト	林 竹内	ホテル サンルート堺
26	青果物流通	10	バングラデシュ(1)、中国(1)、グレナダ(1) インドネシア(2)、マレーシア(1) タンザニア(1)、南アフリカ(1) ヴェネズエラ(1)、ブルガリア(1)	93.10.15~93.11.29	15日	30h	L 1	50Hテキスト	内田 赤松	ホテル京阪京橋
27	建設施工管理者	10	ブラジル(1)、エチオピア(1)、イラン(1) ホンデュラス(1)、香港(1)、スリランカ(1) インドネシア(1)、マレーシア(1) シンガポール(1)、ウガンダ(1)	93.10.18~93.11.17	12日	24h	L 1	OITC作成冊子 テープ「楽しく聞こう」 「数のききとり」	吉川 吉川	

平成5年度 一般講習実施状況一覧表

表6-4

No.	研修コース名	人数	国名	日本語研修実施期間	日数	講習時間	到達目標	使用テキスト	担任	備考
28	中小企業対策Ⅱ+ 社会資本整備 合同	3	中国(1)、ウガンダ(1)、モンゴル(1)	94. 1.24~94. 2.18	10日	20h	L 1	冊子	今井 久保	
29	湖沼水質保全	10	中国(1)、エジプト(1)、インドネシア(1) ケニア(1)、フィリピン(1) シンガポール(1)、タイ(2) ヴェネズエラ(1)、カンボディア(1)	94. 1.24~94. 2.18	10日	20h	L 1	ハンドアウト	森川	ホテル大昌
30	医療放射線技術者指導 +先進ガラス材料 合同	4	ザンビア(1)、インドネシア(2) アルゼンティン(1)	94. 2.14~94. 3.18	15日	30h	L 2	ローマ字版第一分冊 ハンドアウト	内田 吉川	
31	投資環境整備	7	タイ(1)、フィリピン(1)、コロンビア(1) マレーシア(1)、中国(1)、パキスタン(1) 韓国(1)	94. 1.24~94. 2.23	10日	20h	L 1	ハンドアウト	中山 竹内	
32	社会資本関連環境影響 評価	5	中国(1)、香港(1)、メキシコ(1) フィリピン(1)、タイ(1)	94. 1.31~94. 2. 9	4日	8h	L 1	ハンドアウト プリント	西村 一階	
33	文化財修復整備技術	5	カンボディア(1)、中国(1)、パキスタン(1) ベルー(1)、タイ(1)	94. 2.24~94. 3.31	10日	20h	L 2	ローマ字版第一分冊 第二分冊、絵教材 練習プリント	小林 赤松	
34	都市廃棄物対策	2	マレーシア(1)、インドネシア(1)	94. 1.31~94. 2. 9	3日	6h	L 1	ハンドアウト プリント	元村	オーバルホテル
35	社会関連影響+ 都市廃棄物 合同	7	中国(1)、香港(1)、インドネシア(1) マレーシア(1)、メキシコ(1) フィリピン(1)、タイ(1)	94. 2.14~94. 3. 2	9日	18h	L 1	ハンドアウト プリント	西村 元村	
36	個別対応 (来日遅延者等)	1	フィリピン(1)	93. 9.22	1日	2h	-	プリント	吉川	来日遅延者(上級微生物病研究)
計	36コース	214人	52ヶ国		437日	874時間				

一 集中講習の時間設定基準一

(イ) 研修期間別による基本講習必要時間

研修期間	一般講習	学習内容	到達目標	レベル	一般講習	学習内容	到達目標	レベル
3ヵ月未満	25時間	日常の挨拶/自己紹介(名前・国籍)/料理の材料名を聞く/「お願いします」の表現でレストラン・郵便局・ホテル等での簡単な依頼をする/場所・所在を尋ねる/買い物時の表現/駅で切符を買い、何番線ホームか聞く・行き先の確認をする/生活に関する会話(1日の生活を簡単に言う)/値段を聞く	自分の名前と国籍についての簡単な自己紹介や日常生活の挨拶ができる。 数が1000まで言えて聞ける。	1	20時間	写真屋での表現/日付/簡単な形容詞を使って感想や印象を言う/ホームステイ時の挨拶/家族構成を言う/存在・所在の確認/乗り物での表現(何で行くか、どこで乗り降りするのか聞く)/道を尋ねる/依頼表現(～て下さい)/許可を得る/健康に関する表現	日常生活で遭遇すると思われる場面での、基本的会話ができる。	2
3～6ヵ月	50時間	日常の挨拶/自己紹介/料理の材料名を聞く/場所・所在を尋ねる/駅で切符を買い、何番線ホームが聞く・行き先の確認をする/レストラン等で注文をする/値段を聞く/電話番号を聞き、相手に電話口に出てもらふ/行き先を言う/時刻を言う/生活に関する会話(一日の生活を簡単に言う)/存在・所在の表現/健康に関する表現	基本文型の積上げと、日常生活で最低限必要な表現ができる。 ひらがな表記の紹介。 数が10000まで言えて聞ける。	1	25時間	乗り物(何で行くか、どこで乗り降りするか言う)/依頼表現(肯定・否定)/順次動作/希望表現/許可を得る/理由を言う/普通体文/進行・習慣を表す表現	サバイバル的な表現だけでなく、基本文型を習得する。 ～て形、～ない形、辞書形等の動詞の活用ができ、依頼・許可等の表現ができる。	1
6～9ヵ月	75時間	日常の挨拶/自己紹介/料理の材料名を聞く/駅で切符を買い、何番線ホームが聞く・行き先の確認をする/レストラン等で注文をする/値段を聞く/電話番号を聞き、相手に電話口に出てもらふ/行き先を言う/場所・所在を尋ねる/時刻を言う/生活に関する会話(一日の生活を簡単に言う)/存在・所在の表現/健康に関する表現/乗り物(何で行くか、どこで乗り降りするか言える)/依頼表現(肯定・否定)/順次動作/希望表現/許可を得る/理由を言う/進行・習慣を表す表現/結果存在の表現/「～になった」構文	基本的な文法・文型を習得し、日常生活の基本的な場面での簡単なやりとりができる。 ひらがな表記を読むことに重点を置いて紹介。	2	25時間	好き嫌い表現/上手下手表現/「__は__が形容詞です」構文/勧誘表現/希望表現/辞書形/「__ことができます」構文/連体修飾/見学先での挨拶表現/～時間、～日、～週間、～ヵ月、～年/天候に関する表現/普通体文	基本的な文型・文法の定着をさらにはかり、「技術研修のための日本語」第一分冊を終了する。	2
9ヵ月以上	100時間	日常の挨拶/自己紹介/料理の材料名を聞く/駅で切符を買い、何番線ホームが聞く・行き先の確認をする/レストラン等で注文をする/値段を聞く/電話番号を聞き、相手に電話口に出てもらふ/行き先を言う/場所・所在を尋ねる/時刻を言う/生活に関する会話(一日の生活を簡単に言う)/存在・所在の表現/健康に関する表現/乗り物(何で行くか、どこで乗り降りするか言える)/依頼表現(肯定・否定)/順次動作/希望表現/許可を得る/理由を言う/進行・習慣を表す表現/結果存在の表現/「～になった」構文/好き嫌い表現/上手下手表現/「__は__が形容詞です」構文/勧誘表現/希望表現/辞書形/「～ことができます」構文/連体修飾/見学先での挨拶表現/～時間、～日、～週間、～ヵ月、～年/天候に関する表現/普通体文	基本的な文型・文法の定着をはかり、日常生活の基本的な場面での簡単なやりとりができる。 簡単な指示が理解できる。 ひらがな表記を読むことに重点を置いて紹介。	2	50時間	連体修飾/「～たことがあります」構文/可能形/理由を表す「～て(で)」/比較文/「～と思います」構文/「～てあります(います)」構文/推量の表現/「～てしまいました」構文/「～てみます」構文/「～ようと思います」構文/「～つもりです」構文/「～ておきます」構文/目的表現/「～んです」構文	さらに基本文型の定着をはかり、外出・パーティ等の場面での簡単な会話ができる。 実習現場での簡単な指示が理解でき、反応できる。 ひらがな表記が読める。 「出口/入口」「危険!注意」等、一部の漢字の標示が理解できる。	3

※レベルについては、別表1に準ずる

(ロ) 研修指導方法により集中講習調整時間

研修指導方法	調整時間数	調整理由
実習タイプ	+25時間	危険回避用語の習得
講義タイプ	±0時間	研修管理員による通訳があるため不要
研究タイプI (英語による個別指導)	±0時間	英語を使用する指導のため不要
研究タイプII (日本語による個別指導)	+25時間	研修効果の向上のため

(ハ) 滞在場所による一般講習調整時間

滞在場所	調整時間数	調整理由
大阪国際センター	±0時間	日常生活上特に問題なし
大阪市内のホテル	+20時間	日常生活上日本語使用頻度増
地方都市のホテル	+40時間	日常生活上日本語習得不可欠

(3) 研修機関拡充事業

英会話の講習

研修の実施にあたり、講義、実習等については各研修コースに配置されている研修監理員が必要に応じて通訳を行っていますが、技術移転の観点のみならず、研修全般について充実、円滑化を図っていくためには、研修員と講師、研修関係者との間のコミュニケーションの緊密化が極めて重要であるため、研修機関拡充事業の一環として、研修員に直接技術指導を行っている受入機関に対し、英会話の講習を実施しました。

平成5年度の実施状況は下表のとおりです。

研修実施機関	講習時間数	受講者数 名	実施期間・時間等												技術研修コース名
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
近畿地方建設局	週/1日/2h (24回/48h)	18	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	建設施工コース 建設施工管理者コース 社会資本整備計画コース 社会資本関連環境影響評価コース
			:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		
			:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
大阪市立工業研究所	週/1日/2h (24回/48h)	14	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	有機ファインケミカルズ 工学コース 酵素工学コース 高分子材料工学コース	
			:	:	:	:	:	:	:	:	:	:			
			:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		
大阪市国際交流課(初級)	週/1日/2h (24回/48h)	17	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	大気汚染対策コース (環境保健局) 青果物流通 (大阪市中央卸売市場) 都市緑化行政コース (建設局)	
			:	:	:	:	:	:	:	:	:	:			
			:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		
大阪市国際交流課(中級)	週/1日/2h (24回/48h)	16	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	都市廃棄物コース (環境事業局) 都市排水コース (下水道局)	
			:	:	:	:	:	:	:	:	:	:			
			:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		



#### (4) 調査団の派遣実績

##### (イ) 調査団の派遣

平成5年度は帰国研修員に対するフォローアップ調査団の派遣は3件あり、「救急・大災害医療セミナー帰国研修員フォローアップ」調査団を平成5年7月にタイ、インドネシアの2カ国に、「中小企業対策Ⅱコース帰国研修員フォローアップ」調査団を平成5年10月にケニア、エジプトの2カ国に、「メカトロニクス訓練コース帰国研修員フォローアップ」調査団を平成6年2月にボリヴィアとパラグアイの2カ国にそれぞれ派遣しました。

##### (ロ) 調査団の概要

調査団名	派遣国	派遣期間	団員構成
1. 救急・大災害医療セミナー帰国研修員フォローアップ	タイ インドネシア	平成5年7月26日 ～8月5日 (11日間)	団長 鶴飼 卓 大阪市環境保健局医務監 高橋雄二 日本赤十字医療センター外科副部長 企画・業務調整 石上俊雄 JICA大阪国際センター研修課
2. 中小企業対策Ⅱコース帰国研修員フォローアップ	ケニア エジプト	平成5年10月21日 ～11月8日 (19日間)	団長 高田亮爾 流通科学大学商学部教授 上野 紘 奈良県立商科大学商学部教授 寺岡 寛 中京大学経営学部助教授 企画・業務調整 横田京子 JICA大阪国際センター研修課
3. メカトロニクス訓練コース帰国研修員フォローアップ	ボリヴィア パラグアイ	平成6年2月14日 ～3月3日 (18日間)	団長 遠山 功 大阪府立東淀川高等職業技術専門校校長 森田 誠 大阪府立東淀川高等職業技術専門校技師 企画・業務調整 山田章彦 JICA大阪国際センター研修課

#### (5) 研修員福利・厚生活動業務

##### (イ) 研修員・厚生活動概要

来阪研修員が関西地域の社会環境に適応し、健康で明るく、快適な研修生活が出来よう、健康管理面では、昭和57年7月府知事認可を得て、館内4階に診療室を開設以来、毎火又は水曜日嘱託医師による診療と健康相談を年50回を目安に実施しており、5年度は52回247件（表7のとおり）、うち143件につき、指定病院同行通訳（内看護婦同行113件）が実施された他、スポーツ施設利用契約に基づく1スポーツ施設利用回数は、550件に及んでいます。

また、レクリエーション行事では、地域社会との交流親善に配慮し、地域協力団体が主催する親善行事に多数の研修員が招待ベースで参加しました（表8）。



七夕まつり



上手でしょう！ 夏まつり

平成5年度 福利厚生業務（嘱託医師・看護婦配置）

表7

1. 医師診療実施状況表

診療月日		診療 件数	診療月日		診療 件数
4月6日	火	2	10月6日	水	7
13日	火	4	13日	水	3
20日	火	3	20日	水	4
27日	火	5	27日	水	4
5月4日	火	3	11月3日	水	2
11日	火	4	10日	水	9
18日	火	6	17日	水	5
25日	火	1	24日	水	7
6月1日	火	4	12月1日	水	7
8日	火	5	8日	水	6
15日	火	7	14日	火	1
22日	火	3	22日	水	0
29日	火	2	29日	水	2
7月6日	火	6	1月5日	水	3
13日	火	3	12日	水	1
20日	火	5	19日	水	13
27日	火	4	26日	水	3
8月3日	火	5	2月2日	水	3
10日	火	3	9日	水	6
17日	火	9	16日	水	5
24日	火	1	23日	水	10
31日	火	2	3月2日	水	10
9月7日	火	4	9日	水	10
14日	火	6	16日	水	4
21日	火	5	23日	水	7
28日	火	5	30日	水	8
小計 26回		107	小計 26回		140
			合計 52回		247

2. 看護婦業務実施状況表

\*印 脇村看護婦分

勤務月日	勤務内容			勤務月日	勤務内容			勤務月日	勤務内容			
	介助	相談・その他	病院同行		介助	相談・その他	病院同行		介助	相談・その他	病院同行	
4月1日	木		カルテ入力	6月29日	火	2		9月14日	火	6	医薬品整理	
3日	土		1	30日	水		カルテ(相) 1	15日	水		カルテ入力	
6日	火	2	薬品請求	7月1日	木	2	カルテ入力	16日	木		2	
8日	木		カルテ整理	3日	土	3	カルテ整理	17日	金		1	
10日	土		医療品整理	6日	火	6	1	18日	土		薬品整理	
13日	火	4	備品整理	7日	水	1	カルテ入力	21日	火	5		
15日	木		薬品・カルテ整理	9日	金	2	〃	22日	水		2	
17日	土		薬品・カルテ整理	10日	土	1	カルテ整理	25日	土		薬品整理	
20日	火	3	カルテ入力	13日	火	3	カルテ整理	28日	火	5		
22日	木		1 薬品整理	14日	水	3	カルテ入力	29日	水		1	
24日	土		1 〃	15日	木	1	〃	30日	木		2	
27日	火	5	〃	17日	土	3	〃	10月2日	土		薬品整理	
29日	木		2 〃	20日	火	5		4日	月		薬品請求 カルテ入力	
5月1日	土		2 〃	21日	水		3 カルテ入力	6日	水	7		
4日	火	3		22日	木		カルテ入力	7日	木		カルテ入力	
6日	木		1 薬品請求	24日	土	1	カルテ入力	9日	土		1 薬品整理	
8日	土		カルテ入力	27日	火	4	薬品整理	11日	月		2	
11日	火	4	カルテ入力	28日	水	1	カルテ入力	13日	水	3	カルテ入力	
13日	木		入力データ確認	29日	木	1	〃	14日	木		カルテ入力	
15日	土		1 カルテ入力	31日	土	4	カルテ処理	16日	月		4	
18日	火	6	カルテ処理	8月3日	火	5		18日	火		3	
19日	水		医療相談	4日	水		2 薬品整理	20日	水	4		
20日	木		1 カルテ入力	5日	木	1	カルテ入力	21日	木		カルテ入力	
22日	土		1 カルテ処理	7日	土	1	〃	23日	土		7	
25日	火	1	カルテ入力	10日	火	3	2 〃	25日	月		1	
26日	水		1 カルテ処理	11日	水	1	カルテ入力	27日	水	4		
27日	木		カルテ入力	12日	木		カルテ入力	28日	木		カルテ入力	
29日	土			14日	土		1	30日	土		1	
6月1日	火	4	カルテ入力	17日	火	9	2 カルテ入力	11月1日	月		2 カルテ入力	
2日	水		カルテ処理	18日	水		1	3日	水	2		
3日	木		カルテ入力	19日	木		3	4日	木		3 カルテ入力	
5日	土		1 〃	21日	土		カルテ入力	6日	土		2	
8日	火	5	カルテ処理	24日	火	1	カルテ入力	8日	月		カルテ入力	
9日	水		〃	25日	水		2	10日	水	9		
10日	木			26日	木	2	カルテ入力	11日	木		薬品請求	
12日	土			28日	土		カルテ入力	13日	土		1	
15日	火	7	薬品請求	31日	火	2		15日	月		カルテ入力	
16日	水			9月1日	水		2 カルテ入力	17日	水	5		
17日	木		カルテ処理	2日	木			18日	木		薬品整理	
19日	土			4日	土		3	20日	土		カルテ入力	
22日	火	3		7日	火	4	カルテ入力	22日	月		1	
23日	水		カルテ入力	8日	水		2 薬品請求	24日	水	7		
24日	木		〃	9日	木		1 カルテ入力	25日	木		1	
26日	土		3 〃	11日	土			27日	土		カルテ入力	
小計 44回		47	16	24	小計 44回	44	50	26	小計 44回	57	24	37

勤務月日		勤務内容			勤務月日		勤務内容		
		介助	相談・その他	病院同行			介助	相談・その他	病院同行
11月29日	月		3		2月16日	水	5		
12月1日	水	7	物品整理		17日	木		1 カルテ入力	
2日	木		〃		19日	土		2	
4日	土			2	21日	月		1	
6日	月		カルテ入力		23日	水	10		
8日	水	6			24日	木		カルテ入力	
9日	木		薬品請求		26日	土		1	
11日	土		4	1	28日	月		4 カルテ入力	
13日	月		カルテ入力		3月2日	水	10		
14日	火	1	薬品整理		3日	木		薬品整理	
16日	木		カルテ入力		5日	土		3	
18日	土		1	2	7日	月		4	
20日	月		カルテ入力		9日	水	10		
22日	水	0	カルテ入力		10日	木		薬品整理	
24日	金		1		12日	土		3 カルテ入力	
25日	土		3		14日	月		3	
27日	月			2	16日	水	4		
29日	水	2	カルテ入力		17日	木		1 カルテ入力	
30日	木		1 カルテ入力		19日	土		5	
1月3日	月		1 カルテ入力		21日	月		1 カルテ入力	
5日	水	3			23日	水	7		
6日	木		薬品整理		24日	木		2 カルテ入力	
8日	土			3	26日	土		1 カルテ入力	
10日	月		移転説明会		28日	月		3	
12日	水	1			30日	水	8		
13日	木		カルテ入力		31日	木		2 カルテ入力	
15日	土		1 カルテ入力		小計 26回		54	34	
17日	月		3					8	
19日	水	13							
20日	木		移転準備						
22日	土		1	5					
24日	月		1						
26日	水	3							
27日	木		1 移転準備						
29日	土		1	2					
31日	月		1 移転準備						
2月2日	水	3							
3日	木		移転準備						
5日	土		移転						
7日	月		備品搬入						
9日	水	6							
10日	木		2						
12日	土			1					
14日	月		薬品請求						
小計 44回		45	25	18	合計 202回		269	149	113

平成5年度 研修員レクリエーション実績表

表8  
大阪国際センター

実施月日	曜日	行 事 名	実 施 場 所	主 催 団 体	予 定 人 員	摘 要 (参加・対象・コース)
5月8・9日	土・日	倉敷観光とホーム・ステイ	倉敷国際親善協会会員宅	倉敷国際親善協会・世界友の会	20人	招待ベース
21日	金	歓迎親善パーティー	OITC 2F ロビー	OITC	90人	酵素工学・生物製剤・農業機械・メカトロ・高分子材料
29日	土	大商ホーム・ヴィジット	大商ホスト・ファミリー	大阪商工会議所 国際部	35人	希望参加者 新規来阪者を主体とする
6月12日	土	春季バス・ツアー	琵琶湖外輪船・比叡山	OITC	70人	希望参加者 バス備上 昼食・飲物支援
7月16日	金	歓迎親善パーティー	OITC 2F ロビー	OITC	100人	知的財産権・大気汚染・上級微生物・医療放射線
24・25日	土・日	交流親善会	奈良市	奈良一条高校	40人	1泊2日 招待ベース
31日	土	大商ホーム・ヴィジット	大商ホスト・ファミリー	大阪商工会議所 国際部	35人	希望参加者 新規来阪者を主体とする
8月21・22日	土・日	地域盆踊り大会	茨木春日丘公園	春日丘神社・自治会	人	近隣者との交流行事 浴衣貸し出し
28日	土	ハイキングとBBC	摂津峡	OITC	人	自由参加 昼食(BBC) 全研修員対象
9月18日	土	大商ホーム・ヴィジット	大商ホスト・ファミリー	大阪商工会議所 国際部	人	希望参加者 新規来阪者を主体とする
24日	金	歓迎親善パーティー	OITC 2F ロビー	OITC	100人	配電システム管理、地方自治、上級微生物、自動車整備、都市緑化、都市排水、家禽疾病診断、空調技術、建設施工、循環器病、OA化技術、有機ファイン
10月2日	土	秋季運動会	万博記念公園小運動場	OITC	200人	賞品・飲食物支援
10日	日	沢池地区体育祭・追手門小学校運動会	沢池小学校・追手門小学校グラウンド	春日丘地区自治会・世界友の会	各20人	招待ベース
11月13日	土	大商ホーム・ヴィジット	大商ホスト・ファミリー	大阪商工会議所 国際部	30人	希望参加者 新規来阪者を主体とする
20日	土	秋季バス・ツアー 奈良	赤目48滝、室生寺	OITC	80人	昼食・飲物支援
25日	木	国際親善パーティー	全日空シェラトン	JICA OITC	500人	
1月21日	金	歓迎親善パーティー	OITC 2F ロビー	OITC	100人	中小企業対策、湖沼水質、医療放射線、社会資本、文化財、投資環境、先進ガラス、都市廃棄物、配電、地方自治、有機ファイン、都市緑化、都市排水、建設管理者
29日	土	大商ホーム・ヴィジット	大商ホスト・ファミリー	大阪商工会議所 国際部	30人	希望参加者 新規来阪者を主体とする
2月26日	土	大商ホーム・ヴィジット	大商ホスト・ファミリー	大阪商工会議所 国際部	30人	希望参加者 新規来阪者を主体とする

注) 茨木国際友好協会によるバザー等行事が月1回開催され、参加者多数あり。

(6) 宿泊施設運営管理業務

(イ) 業務概要

平成5年度の宿泊施設利用実績は表9のとおりです。

建物管理業務については旧センターに引き続き、東京ビジネスサービス㈱（TBS）に総括・設備管理・フロント・警備・清掃建物設備等保守・食堂運営の各業務を委託・実施しています。

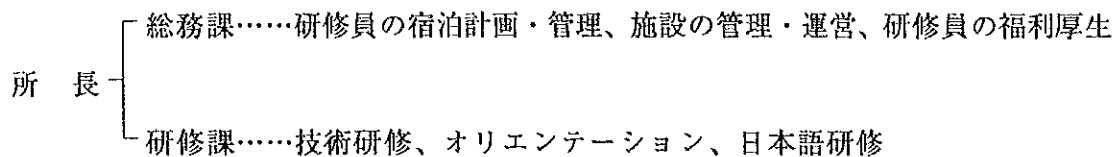
平成5年度 宿泊施設利用実績

表9

番号	コース名	人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	単価	宿泊料収入
1	上級微生物病研究 (継続)	6	180	186	180	180									726	4,200	3,049
2	自動車整備技術 (継続)	10	300	310	300	310	280								1,500	4,200	6,300
3	医療放射線技術 (継続)	6	180	186	180	126									672	4,200	2,822
4	先進ガラス材料 (継続)	5	150	155	150	50									505	4,200	2,121
5	(特設) 文化財修復整備技術 (継続)	6	180	114											294	4,200	1,235
6	(特設) 都市廃棄物対策 (継続)	5	150	110											260	4,200	1,092
7	酵素工学	5	80	155	150	155	155	150	10						855	4,200	3,591
8	生物製剤技術	5		55	135									25	215	4,200	903
9	農業機械管理	10				200	310	150	310	245					1,215	4,200	5,103
10	空調技術	6													0	4,200	0
11	(特設) メカトロニクス訓練	7		84	210	217	217	210	217	210	217	217	82		1,881	4,200	7,900
12	高分子材料工学	6		72	180	181	140								573	4,200	2,407
13	建設施工Ⅱ	11					220	330	341	175					1,066	4,200	4,477
14	家禽疾病の診断技術	6						90	90		36	48	102	139	505	4,200	2,121
15	地方自治体行政実務	8							56						56	4,200	235
16	配電システム管理	6													0	4,200	0
17	有機ファインケミカル	5					100	150	155	150	18				573	4,200	2,407
18	上級微生物病研究	7						143	217	210	217	217	182	217	1,403	4,200	5,893
19	(特設) 自動車整備技術	10								110	310	310	280	310	1,320	4,200	5,544
20	(特設) 都市緑化行政	6						102							102	4,200	428
21	(特設) 都市排水	6						96		24	46				166	4,200	697
22	青果物流通	7								28	146				174	4,200	731
23	建設施工管理者	10							250	300	135				685	4,200	2,877
24	中小企業対策Ⅱ	10										190	280	227	697	4,200	2,927
25	医療放射線技術指導者	6										113	168	186	467	4,200	1,961
26	(特設) 社会資本整備計画	7										133	196	131	460	4,200	1,932
27	先進ガラス材料	5											85	155	240	4,200	1,008
28	(特設) 文化財修復整備技術	5											85	155	240	4,200	1,008
29	(特設) 都市廃棄物対策	5											85	155	240	4,200	1,008
30	社会資本関連環境影響	8										146	224	203	573	4,200	2,407
31	投資環境整備	9											153	230	383	4,200	1,609
32	湖沼水質保全	10												29	29	4,200	122
33	(特設) W I D 統計	8												146	146	4,200	613
													26		26	4,200	109
	宿泊者合計 (人日)		1,438	1,577	1,635	1,594	1,554	1,456	1,719	1,624	1,320	1,491	2,741	4,028	22,177	4,200	93,143
	集団研修員		1,220	1,427	1,485	1,419	1,422	1,421	1,646	1,452	1,125	1,374	1,948	2,308	18,247	4,200	76,637
	国特研修員								12				206	99	317	4,200	1,331
	個別研修員		217	150	150	175	132	27	73	158	194	114	168	487	2,045	4,200	8,589
	一般・その他		1	0	0	0	0	8	0	2	1	3	419	1,134	1,568	4,200	6,586
	宿泊可能数 (人日)		1,860	1,922	1,860	1,922	1,922	1,860	1,922	1,860	1,922	1,922	6,972	9,300	35,244		-
	入館率		77.3	82.0	87.9	82.9	80.8	78.2	89.4	87.3	68.7	77.6	39.3	43.3	62.9		-
	宿泊料収入		6,041	6,623	6,867	6,695	6,527	6,122	7,220	6,822	5,545	6,269	12,062	18,098	94,891		398,542

(7) センター組織と館内案内図

組 織



1) 建物規模

鉄筋コンクリート9階建（宿泊棟）

敷地面積 11739.09 m<sup>2</sup>

建築面積 5069.75 m<sup>2</sup>

延床面積 16468.151m<sup>2</sup>

2) 宿泊可能人員（300名）

シングルルーム（18.0m<sup>2</sup>）280室、ツインルーム（36.0m<sup>2</sup>）10室

各室バス・トイレ、テレビ、電話付

3) 研修施設

ブリーフィング室、オリエンテーション室、セミナー教室18室、国際会議室、

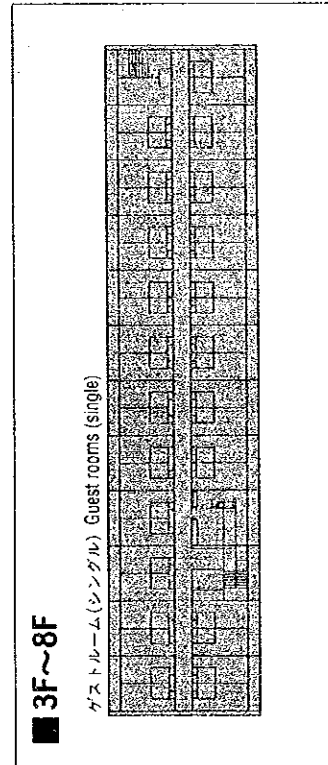
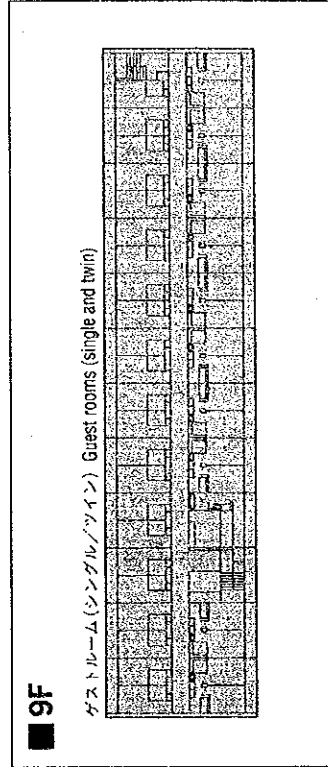
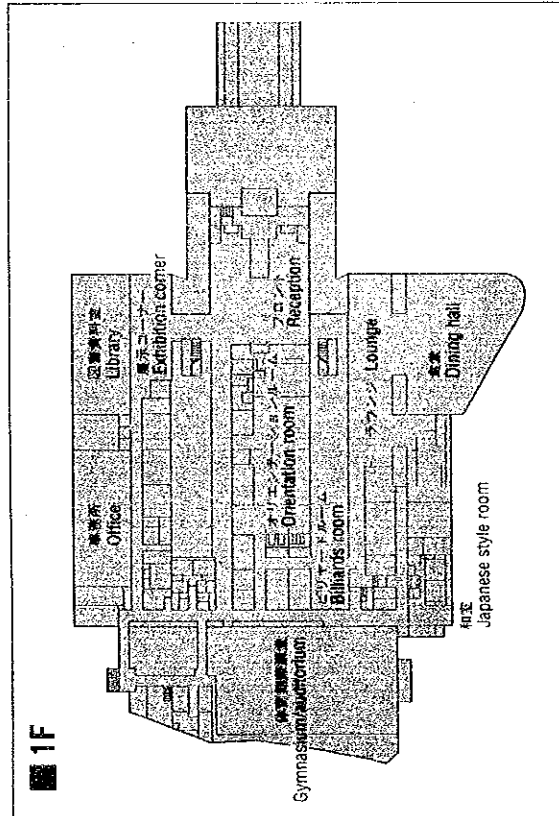
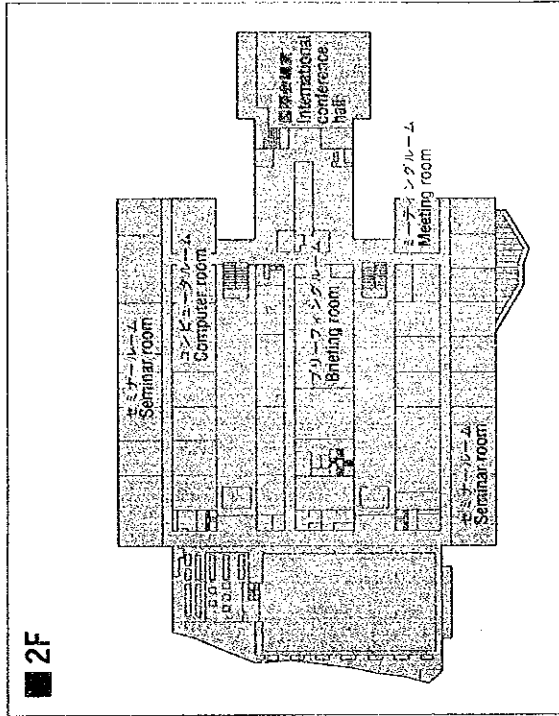
コンピュータ室4室、日本語LL教室、図書資料室、会議室4室

4) その他

図書室、受付、食堂、体育館、テニスコート他



センター内案内図



( 参 考 資 料 )

● J I C A 国内機構

〈本 部〉

●本部ビル

〒 163 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 9, 45~50 階

TEL 03 (3346) 5311~5314 (受付台)

●青年海外協力隊事務局

〒 150 東京都渋谷区広尾 4-2-24

TEL 03 (3400) 7261(代)

〈広尾訓練所〉

同 上

〈駒ヶ根訓練所〉

〒 399-41 長野県駒ヶ根市赤穂 15

TEL 0265 (82) 6151(代)

〈附属機関〉

●筑波インターナショナルセンター (T B I C)

〒 305 茨城県つくば市高野台 3-6

TEL 02975 (6) 1111(代)

●筑波国際農業研修センター (T I A T C)

〒 305 茨城県つくば市高野台 3-7

●八王子国際研修センター (H I T C)

〒 192 東京都八王子市暁町 2-31-2

TEL 0426 (26) 5411(代)

●東京国際研修センター (T I C)

〒151 東京都渋谷区西原 2-49-5

TEL 03 (3485) 7051(代)

●神奈川国際水産研修センター (K I F T C)

〒 238-03 神奈川県横須賀市長井町 5-25-1

TEL 0468 (57) 2251~3

●名古屋国際研修センター (N I T C)

〒 465 愛知県名古屋市名東区亀の井 2-73

TEL 052 (702) 1391(代)

●大阪国際センター (O S I C)

〒 567 大阪府茨木市西豊川町 25 番 1 号

TEL 0726 (41) 6900(代)

●兵庫インターナショナルセンター (H I C)

〒 654 兵庫県神戸市須磨区一の谷町 4-5-10

TEL 078 (734) 5175

●九州国際センター (K I C)

〒 805 福岡県北九州市八幡東区平野 2-2-1  
TEL 093 (671) 6311

●沖縄国際センター (O I C)

〒 901-21 沖縄県浦添市字前田 1143-1  
TEL 0988 (76) 6000(代)

●海外移住センター

〒 235 神奈川県横浜市磯子区西町 16-5  
TEL 045 (751) 1121(代)

●国際協力総合研修所

〒 162 東京都新宿区市谷本村町 10-5 ~~国際協力センター内~~  
TEL 03 (3269) 2911(代)

<国内支部>

●北海道支部

〒 060 北海道札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1-3 日本生命北門館ビル 5 階  
TEL 011 (221) 6333(代)

●東北支部

〒 980 宮城県仙台市一番町 4-6-1 仙台第一生命タワービル 15 階  
TEL 022 (223) 5151(代)

●関東支部

〒 160 東京都新宿区市谷本村町 4 2 経済協力センタービル 5 階  
TEL 03 (3359) 8281(代)

●東海支部

〒 460 愛知県名古屋市中区丸の内 2-4-7 愛知県産業貿易館西館 8 階  
TEL 052 (221) 7103(代)

●関西支部

〒 530 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2 近鉄堂島ビル 8 階  
TEL 06 (345) 3621(代)

●中国支部

〒 730 広島県広島市中区紙屋町 1-2-29 安田火災・富士銀行広島共同ビル 8 階  
TEL 082 (247) 2851(代)

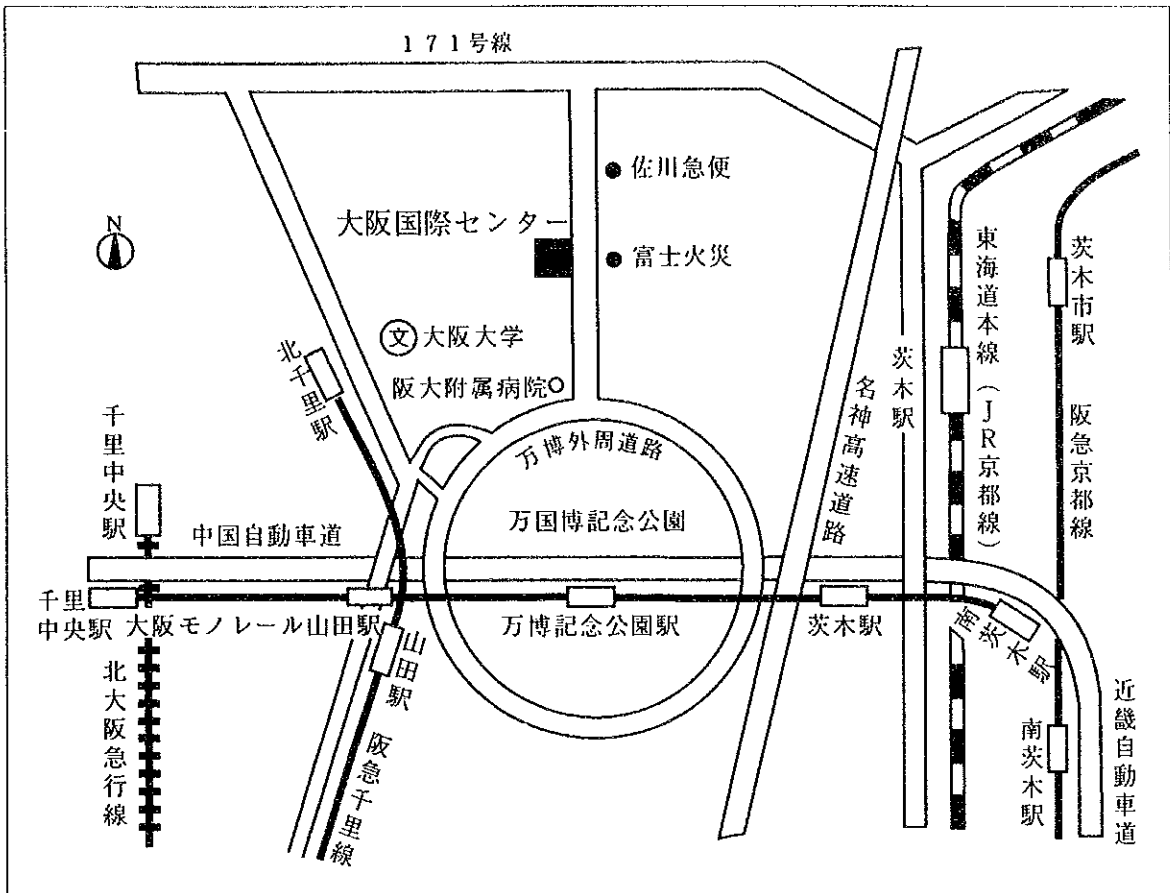
●四国支部

〒 760 香川県高松市亀井町 5-1 百十四ビル 13 階  
TEL 0878 (33) 0901(代)

●九州支部

〒 812 福岡県福岡市博多区博多駅前 2-9-28 福岡商工会議所ビル 8 階  
TEL 092 (451) 3380(代)

交通案内図



・交通の便

センターとJR茨木駅（一部阪急茨木）間のシャトルバスを運行しています。

なお、JR茨木駅からは近鉄バスで大阪大学付属病院迄バスが出ています。（同病院から北へ歩いて15分です。）

